

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	観光資源整備事業				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	文化観光費		事業	都市型観光プラン推進事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P48	政策の柱 基本的な考え方	まちの魅力を活かした都市型観光の推進 品川ならではの観光コンテンツを充実する
総合実施計画	P64	実施計画事業 現況 必要事業量	水辺を活用したにぎわい創出 - -
事業期間	平成16年度 ~	関連する個別計画等	品川区都市型観光プラン
根拠法令要綱			

2 事業の目的・概要

【目的】	◆区内の多彩で魅力ある観光資源を活用した「都市型観光」の展開により、来街者の増加とにぎわい創出を図る。
【概要】	◆観光関連団体との連携、支援により「オールしながわ」での観光振興・観光まちづくりを推進していく。 ◆しながわ観光の魅力である名所旧跡や水辺、公園、アクセスの良さなど多様なコンテンツを関係団体や自治体との連携イベント、PRキャラクターの活用等により付加価値を高めていく。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
しながわ水辺の観光フェスタ来場者数	人	目標	39,000	39,000	80,000	80,000	80,000	しながわ水辺の観光フェスタの各イベントの延べ来場者数
		実績	67,410	86,740	84,790		令和10年度	
しながわ観光フェア来場者数	人	目標	3,000	6,200	6,200	6,400	7,000	西小山駅前で開催する区主催「にしこやまつり」の来場者数
		実績	6,000	6,300	6,500		令和10年度	
目黒川イルミネーション来場者数	人	目標	590,000	600,000	900,000	900,000	920,000	実行委員会と協力して運営する目黒川イルミネーションの来場者数
		実績	600,000	900,000	860,000		令和10年度	
ハタチの龍馬動画視聴総数	回	目標	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	ハタチの龍馬のアニメ・自治体コラボ動画の視聴総数
		実績	225,000	150,000	347,000		令和10年度	

取組内容・実績	◆水辺各地区（東品川、天王洲、勝島、五反田、品川宿、八潮）でイベントを行う「しながわ水辺の観光フェスタ」を10月に実行委員会と共催し、水辺の活性化・PRを図った。 ◆西小山（荏原地区）での区主催イベントや秋季の大型地域イベントへの観光PRブースの出展を行う「しながわ観光フェア」を実施し、荏原地区への誘客、地域イベント来場者への観光PRを図った。 ◆「目黒川イルミネーション」を11月～1月の60日間、100%廃食用油活用自家発電で点灯させ、実行委員会と協働で実施した。 ◆「ハタチの龍馬」は、イベントへの着ぐるみ出演に加えて、XやYouTubeにより区内外に広く品川区の魅力発信を行った。 ◆「しながわクルーズ」は6月～3月まで通年運航を試行実施し、目黒川イルミネーションや周辺のイベント・施設と連携したコースを企画することで観光クルーズの魅力向上を図った（運航便数391便 乗船者数6,275人）。
---------	---

指標の達成状況	◆「しながわ水辺の観光フェスタ」については、コロナ禍明けの外出機運が落ち着いたことから、令和5年度実績より微減となったものの目標値を超える来場者数となった。 ◆「しながわ観光フェア」については、まちぐるみ文化イベント「あつまれ！えばら」と別日の開催になったこと、周辺の店舗も数多く参加したカレーフェス企画が好評だったこと等の理由から目標値を超える来場者が訪れた。 ◆「目黒川イルミネーション」については、令和5年度と比較し外出機運が落ち着いたことから、来場者数の目標値を若干下回る結果となったが、SDGsを推進する取組みによりテレビをはじめ数多くのメディアへ露出した。 ◆「ハタチの龍馬」については、高知県および福井県坂井市のご当地キャラクターと連携したPR動画を自治体ごとに分けて制作を行ったことで、制作本数が増え、視聴数の増加にも繋がり、各メディアにも取り上げられた。
---------	---

必要性・有効性	◆「しながわ水辺の観光フェスタ」および「しながわ観光フェア」については、目標値を超える来場者数となっており、開催エリアのPRおよび賑わい創出に資する結果を得られている。 ◆「目黒川イルミネーション」は、多数のメディアに取り上げられ、来場者数も多いことから、冬季の観光資源として有効である。 ◆「ハタチの龍馬」は、地域イベントへの出演やSNSの発信を重ねてきたことで、動画再生回数等は伸長している状況にあるものの、区への来訪者数増加につながっているかといった効果測定が行えていない状況であるため、事業内容等については検討する必要がある。
---------	---

4 予算・決算（概要）

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	198	198	0	0	100.0%
役務費	802	49	0	753	6.1%
委託料	66,557	66,538	0	19	100.0%
使用料及び賃借料	30	25	0	5	83.3%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	76,606	75,739	0	867	98.9%
その他	966	807	0	159	83.5%
計	145,159	143,357	0	1,802	98.8%

決算額の主な内訳	◆委託料 66,538千円（イルミネーション設置事業委託、ハタチの龍馬PR事業委託、しながわ観光フェア事業委託他） ◆負担金補助及び交付金 75,739千円（しながわクルーズ事業負担金、しながわ水辺の観光フェスタ分担金、イルミネーション事業負担金他）
----------	--

効率性	◆地域団体と共催しているイベント事業については、予算規模が大きいことから、経費の精査が必要である。 ◆役務費については、しながわ水辺の観光フェスタに係るガバメントクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付金額が当初の想定を下回り、ふるさと納税サイト運営会社に支払う手数料が少額となったことから執行率は6.1%であった。
-----	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	11,342	5,220	-6,122	流動資産 0	0	0	0
物件費	68,381	67,049	-1,332	収入未済	0	0	0
うち委託料	68,258	66,538	-1,720	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	75,318	75,739	421	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,116	1,764	-352	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	157,156	149,772	-7,384	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	904	1,402	498
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	904	1,402	498
その他	0	938	938	その他	0	0	0
小計 E	0	938	938	固定負債 S	5,690	8,956	3,266
行政収支差額 H=E-D	-157,156	-148,834	8,322	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	5,690	8,956	3,266
通常収支差額 J=H+I	-157,156	-148,834	8,322	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	6,594	10,358	3,764
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-6,594	-10,358	-3,764
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-6,594	-10,358	-3,764
当期収支差額 N=J+M	-157,156	-148,834	8,322	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0
特徴事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:8.6% 令和6年度:4.7% ◆事業の多くを委託もしくは共催により実施しているため、物件費(委託料)の割合が高くなっている。						

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆対象・規模等の見直し 【説明】 ◆区が推進する水辺に係る事業については、適宜、改善を図りながら積極的に推進していく。 ◆その他の事業は、事業方法や規模等のブラッシュアップを図り、引き続き実施する。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆対象・規模等の見直し 【説明】 ◆水辺のブランディングに向け効果的な観光施策を取捨選択したうえで、都市ブランディングとの一体的な打ち出しを検討する。 ◆「ハタチの龍馬」等のキャラクター活用手法については、その費用対効果について検討を行い、より効果的な手法を検討すること。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	観光情報発信事業					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	都市型観光プラン推進事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当	

1 基本情報

長期基本計画	P48	政策の柱 基本的な考え方	まちの魅力を活かした都市型観光の推進 観光情報の集約と多様な情報発信をする
総合実施計画	P65	実施計画事業 現況 必要事業量	観光情報の多角的な発信 - -
事業期間	平成16年度 ~	関連する個別計画等	品川区都市型観光プラン
根拠法令要綱			

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆来訪意欲が湧き、更新頻度が高く鮮度の良い情報を発信し、来訪者の増加を図る。 ◆区のイベント、スポット、商店等の多岐にわたる観光情報を様々な媒体を活用して幅広くPRする。	
【概要】 ◆観光に係る各種情報を取材し、サイトやSNS等の情報媒体で発信する。 ◆鉄道事業者と連携した観光PRを行う。 ◆区内ゲストハウスを活用したツアーや羽田空港周辺自治体との連携事業を実施する。	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
しながわ観光協会サイト 閲覧数(年間)	件	目標	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,700,000	しながわ観光協会サイトの閲覧数(年間)
		実績	2,413,980	2,736,915	2,592,024		令和10年度	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆しながわ観光協会のサイトで観光スポットやイベント等の情報を掲載した。 ◆乗降客数が多い都内駅へのパンフレットの配架やデジタルサイネージへの観光PR動画の放映により、鉄道利用者へ品川区の魅力発信を行った。 ◆品川宿周辺の地域行事や体験に参加する外国人向けツアーを8回実施した。 ◆羽田空港周辺の大田区、川崎市と連携して、タイおよびアメリカの現地旅行会社への観光コンテンツに対するニーズ調査・分析を行った。	

指標の達成状況

◆しながわ観光協会サイト閲覧数については、コロナ禍明けの外出機運が落ち着いたことから、令和5年度実績より微減となったものの目標値を上回った。
--

必要性・有効性

◆区への訪問を促すには、最新で魅力ある情報を継続的に発信する必要がある。 ◆区内の鉄道網は充実しており、区への来訪手段である鉄道を活用した情報発信は有効な手段である。
--

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	250	177	0	73	70.8%
役員費	100	39	0	61	39.0%
委託料	14,605	14,605	0	0	100.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	1,250	1,247	0	3	99.8%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	16,205	16,067	0	138	99.1%

決算額の主な内訳

- ◆委託料 14,605千円(鉄道会社を活用した情報発信事業委託、しながわ観光情報管理運営事業委託、ゲストハウストアー事業委託)
- ◆負担金補助及び交付金 1,247千円(羽田空港周辺エリア連携事業負担金)

効率性

- ◆類似の観光情報が飽和しているため、差別化が難しい手法については見直しが必要である。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	3,581	2,415	-1,166
物件費	13,697	14,835	1,138
うち委託料	13,487	14,605	1,118
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	0	1,247	1,247
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	705	882	177
その他	0	0	0
小計 D	17,982	19,379	1,397
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-17,982	-19,379	-1,397
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-17,982	-19,379	-1,397
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-17,982	-19,379	-1,397

特微的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:23.8% 令和6年度:17.0%
- ◆事業の多くを委託により実施しているため、物件費(委託料)の割合が多い。

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	301	701	400
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	301	701	400
その他	0	0	0
固定負債 S	1,897	4,478	2,581
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	1,897	4,478	2,581
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	2,198	5,179	2,981
正味財産の部	-2,198	-5,179	-2,981
正味財産の部合計 U	-2,198	-5,179	-2,981
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

6 評価

(1)所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆取組みの一部廃止

【説明】

- ◆費用対効果が小さい情報発信事業については、見直しを行う。

(2)最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆取組みの一部廃止

【説明】

- ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	観光サービス充実事業					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	都市型観光プラン推進事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当	

1 基本情報

長期基本計画	P48	政策の柱 基本的な考え方	まちの魅力を活かした都市型観光の推進 多様な協働・連携で品川の魅力をさらに向上する
総合実施計画	P65	実施計画事業 現況 必要事業量	観光情報の多角的な発信 - -
事業期間	平成16年度 ~	関連する個別計画等	品川区都市型観光プラン
根拠法令要綱			

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆しながわ観光の魅力を快適に触れ、楽しんでもらうためのサービス整備、観光案内所を中心とした地域PR環境およびコンテンツの構築を図る。
【概要】	◆パンフレットや観光大使による観光案内、観光案内所の整備や支援により、来訪者へのサービス環境を構築する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
観光案内所来館者数	人	目標	47,000	51,000	45,000	47,000	55,000	各観光案内所の合計来館者数
		実績	49,382	43,471	46,155		令和11年度	
観光パンフレット作成数	部	目標	150,000	150,000	155,000	95,000	80,000	観光パンフレットの新規作成数および増刷数の合計値
		実績	140,000	158,700	101,000		令和10年度	
しながわ観光大使のデザイン使用数	件	目標	40	45	50	55	70	チラシ等へのしながわ観光大使のデザイン使用数
		実績	53	69	69		令和10年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆観光案内所(しながわPLAZA、info&cafeSQUARE、品川宿交流館、南品川桜河岸まちなか観光案内所)を年間を通して、運営(運営補助含む)し、来街者に観光情報を案内した。	
◆観光パンフレットやマップの新規制作、増刷を行い、来街者への情報発信を図った。	
◆しながわ観光大使「シナモロール」のイラストの活用、SNSでの情報発信、地域イベントへの出演により、賑わい作りと集客に寄与した。	

指標の達成状況

◆観光案内所来館者数については、案内所周辺で地域イベント等が活発に行われたことから、令和5年度実績を超える来館者数となり、目標値を上回った。
◆観光パンフレット作成数は、コロナ禍明けの外出機運が落ち着き需要が低下したことおよび増刷コストが上昇したことから、年次計画を下回った。
◆しながわ観光大使「シナモロール」の高い知名度により、チラシ等へのデザイン使用件数は令和5年度並みとなり、目標値を達成した。

必要性・有効性

◆観光案内所の運営および観光パンフレット作成は、来館者数、作成数(配布数)と成果が数字として表れ、需要を把握できる事業であるため、需要が多い場合は必要と考える。なお、観光パンフレットは、インターネット上も閲覧可能であるため、今後はデジタルへの移行を進めながら、類似するパンフレットの統合等の精査を図っていく。
◆しながわ観光大使「シナモロール」のデザインをチラシ等に活用することにより、手に取ってもらえる可能性が高くなるため、有効性は高い。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	209	184	0	25	88.0%
役員費	0	0	0	0	0.0%
委託料	28,725	28,684	0	41	99.9%
使用料及び賃借料	4,180	3,960	0	220	94.7%
工事請負費	1,025	968	0	57	94.4%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	44,150	43,293	0	857	98.1%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	78,289	77,089	0	1,200	98.5%

決算額の主な内訳
◆委託料 28,684千円(しながわ観光大使PR事業委託、まちかど観光案内所事業委託、観光パンフレット等作製・増刷事業委託他)
◆負担金補助及び交付金 43,293千円(観光協会運営補助金、info&cafeSQUARE運営分担金他)

効率性

◆構成する事業の多くは観光案内所への運営補助金や負担金であり、義務的な経費であるため、大幅な見直しが難しい。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	7,878	3,213	-4,665
物件費	32,111	32,724	613
うち委託料	28,102	28,684	582
維持補修費	176	1,093	917
扶助費	0	0	0
補助費等	32,580	43,293	10,713
減価償却費	864	864	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,552	1,235	-317
その他	0	0	0
小計 D	75,161	82,422	7,261
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	404	404
小計 E	0	404	404
行政収支差額 H=E-D	-75,161	-82,018	-6,857
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-75,161	-82,018	-6,857
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-75,161	-82,018	-6,857

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	25,992	25,128	-864
土地	7,150	7,150	0
建物	18,842	17,978	-864
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	25,992	25,128	-864
流動負債 R	663	981	318
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	663	981	318
その他	0	0	0
固定負債 S	4,173	6,269	2,096
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	4,173	6,269	2,096
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	4,836	7,250	2,414
正味財産の部	21,157	17,878	-3,279
正味財産の部合計 U	21,157	17,878	-3,279
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	25,992	25,128	-864

特徴的事項

◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:12.5% 令和6年度:5.4%
◆観光案内所の運営補助が含まれているため、補助費等(補助金)の割合が大きい。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

◆本小事業の大部分を占める補助金について、その成果を的確に把握し、引き続き実施する。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

◆各取組みの費用対効果等を検証し、適切な予算編成について検討する必要がある。
◆パンフレットについては、デジタル化への移行や類似するパンフレットの統合などにより必要な部数を精査し、作成・増刷する。

令和 7年度 事務事業評価シート (令和 6年度実施事業)

小事業名	フィルムコミッション事業					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費			事業	フィルムコミッション事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当	

1 基本情報

長期基本計画	P48	政策の柱 基本的な考え方	まちの魅力を活かした都市型観光の推進 観光情報の集約と多様な情報発信をする
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成29年度 ~	関連する個別計画等	品川区都市型観光プラン
根拠法令要綱			

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆映画やドラマ等の映像制作会社の撮影場所探しへの支援により、作品に区を登場させる。 ◆区が登場する作品のPRによりロケ地訪問を促す。
【概要】	◆映画やドラマ等の撮影事業者および作品の視聴者をターゲットとしたサイトに、ロケ地情報や区関連作品のコラム記事等を掲載する。 ◆区内ロケ地をPRすることにより、ロケ地訪問者の増加、新たな誘客スポットの創出を図る。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
撮影問い合わせ対応件数	件	目標	60	65	70		令和 6年度	事業者からの映画やドラマ等の撮影に関する問い合わせの対応件数
		実績	57	78	81			
フィルムコミッションサイト閲覧数(年間)	件	目標	124,000	125,000	126,000		令和 6年度	品川区フィルムコミッションPRサイト「しなロケ」の閲覧数(年間)
		実績	124,831	164,242	130,470			
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆	フィルムコミッションサイトに掲載した情報を契機に、テレビ事業者等から映画やドラマ等の撮影に関する問い合わせを81件受けた。
◆	映画やドラマ等の撮影事業者および作品の視聴者をターゲットとしたサイトに、ロケ地情報や区関連作品のコラム記事等を掲載した。
◆	区内ロケ地が登場する作品をPRし、区への来訪促進を図るキャンペーンを実施した。

指標の達成状況

◆撮影問い合わせ対応件数については、新規の問い合わせに加え、過去に対応した撮影事業者からのレポート相談や撮影事業者間の口コミにより、増加傾向である。
◆一般的なフィルムコミッションサイトは撮影事業者を対象としているため、主にロケ地情報のみを掲載していることが多い。区では撮影事業者だけでなく、一般層を対象として定め、ロケ地情報の掲載や更新に加えて、品川区内をロケ地とした作品のコラム記事等のコンテンツを拡充し続けてきた結果、閲覧数は目標値を上回った。

必要性・有効性

◆サイトについては、閲覧数が多く、同類のサイトでは高い検索順位を誇り、需要を取り込んでいる。
◆ロケ地巡りの需要は引き続き高く、ロケ地の切り口から区内への誘客を促進させる施策は有効と考える。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	0	0	0	0	0.0%
役務費	0	0	0	0	0.0%
委託料	5,600	5,600	0	0	100.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	5,600	5,600	0	0	100.0%

決算額の主な内訳

◆委託料 5,600千円(フィルムコミッションPR事業委託)

効率性

◆執行率は100%であるが、内容を精査し、観光情報発信事業(ロケ地を活用した観光PR事業)に組み替える。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	5,729	1,502	-4,227
物件費	16,180	5,611	-10,569
うち委託料	16,180	5,600	-10,580
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	0	0	0
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,128	617	-511
その他	0	0	0
小計 D	23,038	7,730	-15,308
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-23,038	-7,730	15,308
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-23,038	-7,730	15,308
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-23,038	-7,730	15,308

特設事項

◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和 5年度: 29.8% 令和 6年度: 27.4%

◆PRに関する業務は委託により実施しているため、物件費(委託料)の割合が大きい。

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	482	491	9
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	482	491	9
その他	0	0	0
固定負債 S	3,035	3,135	100
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	3,035	3,135	100
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	3,517	3,625	108
正味財産の部	-3,517	-3,625	-108
正味財産の部 合計 U	-3,517	-3,625	-108
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆D 完了・廃止する事業 ◆事業の廃止

【説明】

◆今後は品川区フィルムコミッション(しなロケ)サイトをしながわ観光協会ホームページ内に移行した上で、観光情報発信事業(ロケ地を活用した観光PR事業)へ組み替えし実施していく。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆D 完了・廃止する事業 ◆事業の廃止

【説明】

◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	区民レクリエーション					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P40	政策の柱 基本的な考え方	伝統・文化を継承し親しむ環境づくり 区民の文化・芸術活動を支援する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成元年度～	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	社会教育法、品川区文化芸術・スポーツ振興関係共催事業分担金交付要綱、品川区文化芸術関係団体との共催事業に対する会場提供に関する要綱		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆区民の活動団体を中心とした連盟等と共催事業を展開することで、区民の参加を促進して文化振興を図る。
【概要】	◆区民レクリエーション大会：区民の活動の活発化と参加の促進を図るため、将棋・囲碁・合唱等の連盟との共催により、春季・秋季大会を開催する。 ◆区民いけばな展：区民の活動の活発化と参加の促進を図るため、品川区華道茶道文化協会との共催により年1回開催する。 ◆品川区民コンサート：品川区民管弦楽団の演奏を広く区民の皆様楽しんでいただく機会として、品川音楽文化協会との共催により年2回開催する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
区民レクリエーション大会の参加者数	人	目標	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	区民レクリエーション大会(吟剣・将棋・囲碁・合唱・短歌・麻雀)の参加者数 ※短歌大会は令和4年度のみ含む。
		実績	1,000	1,083	1,550		令和11年度	
区民いけばな展の入場者数	人	目標	400	550	550	550	550	区民いけばな展(2日間)の入場者数
		実績	712	527	527		令和11年度	
品川区民コンサートの入場者数	人	目標	1,050	1,050	1,500	1,500	1,500	品川区民コンサート(春・秋)の入場者数
		実績	1,036	1,315	1,973		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆区民レクリエーション大会は、各活動団体と共催で吟剣詩舞道、将棋、囲碁、合唱の大会を春・秋季に行い、ジュニア囲碁フェスタおよび麻雀大会を年1回行った。また、短歌大会については、共催団体から辞退の申出があったため、令和5年度以降開催していない。 ◆区民いけばな展は、品川区華道茶道文化協会と共催で、10月にきゅりあんイベントホールにて開催した。また、令和5年度より引き続きお茶席の設置といった新たな取組みを実施し、事業のマンネリズム防止を図った。 ◆品川区民コンサートは、品川音楽文化協会と共催で5月と11月にきゅりあん大ホールにてクラシック音楽の演奏会を開催した。
---------	--

指標の達成状況

◆区民レクリエーション大会は、指標を達成できていないが、参加者数は前年度より増加した。 ◆区民いけばな展は、令和4年度はまちぐるみ文化イベントと同時開催をし、参加者数は指標を大きく上回ったが、単独開催となった令和5年度、令和6年度では、わずかながら指標人数に達することができなかった。 ◆品川区民コンサートは、事業としての認知度が高く、また、気軽にクラシック音楽に触れられるというニーズの高さから指標人数に達することができた。

必要性・有効性

◆区民の活動団体による文化・芸術の魅力を伝える発表の場が求められており、区民レクリエーションはその役割を担っている。 ◆本事業は、各団体の諸活動の支援を目的としており、サークル活動による子どもや高齢者の「生きがい」「夢」「つながり」を見つかることのきっかけとなっている。
--

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	530	367	0	163	69.2%
役務費	47	46	0	1	97.9%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	585	568	0	17	97.1%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	3,912	3,912	0	0	100.0%
その他	1	1	0	0	100.0%
計	5,075	4,893	0	182	96.4%

決算額の主な内訳

- ◆需用費 367千円(賞状用紙、参加賞、大会トロフィー)
- ◆使用料及び賃借料 568千円(合唱祭、将棋大会、囲碁大会、いけばな展会場・設備使用料)
- ◆負担金補助及び交付金 3,912千円(品川区吟剣詩舞道連盟他運営負担金、区民コンサート負担金)

効率性

- ◆執行率は96.4%と予算内において効率的に執行している。
- ◆補助金の予算額が過大にならないよう引き続き精査する。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	7,161	2,730	-4,431
物件費	938	1,000	62
うち委託料	0	0	0
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	3,570	3,912	342
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,411	1,058	-353
その他	0	0	0
小計 D	13,080	8,700	-4,380
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-13,080	-8,700	4,380
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-13,080	-8,700	4,380
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-13,080	-8,700	4,380

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 Q	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	602	841	239
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	602	841	239
その他	0	0	0
固定負債 S	3,794	5,373	1,579
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	3,794	5,373	1,579
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	4,396	6,215	1,819
正味財産の部	-4,396	-6,215	-1,819
正味財産の部合計 U	-4,396	-6,215	-1,819
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:65.5% 令和6年度:43.5%
- ◆費用のおおよそ半数を占める補助費等は、各事業を実施する団体への負担金である。
- ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。

6 評価

(1)所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

◆いけばな展では、ワークショップ(令和4年度)やお茶席の設置(令和5・6年度)といった新規の取組みを行い、参加者に楽しんでもらう工夫を行っている。他の事業でも実施方法等の新たな工夫を図っていく。

(2)最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	各種団体支援					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当	

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和47年度 ~	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	社会教育関係団体 講師謝礼助成実施要領 (社会教育法第11条2による社会教育関係団体への援助)、品川区文化芸術・スポーツ振興関係事業委託要綱、区民プロデュース型講座・講演会開設実施要領		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆生涯学習社会の実現を図るため、団体の自主的な活動を支援する。
【概要】	◆社会教育関係団体の登録：登録制度を設け、施設優先申込みや使用料の減免等、団体の育成と発展に資するために必要な支援を行う。 ◆講師謝礼助成：活動の充実を図るため、社会教育関係団体が行う学習会の講師謝礼の一部を区が負担する。 ◆区民プロデュース型講座：区民を中心とした団体が文化や環境問題、福祉等の内容で広く区民を対象に企画した講座・講演会の開催を支援する。 ◆生涯学習ボランティア保険：社会教育関係団体（少年少女）等の指導者・育成者などを対象に、保険料を負担する。 ◆生涯学習ハンドブックの作成：文化・スポーツ・生涯学習に関する事業を中心にまとめたガイドブックを作成することで区民の社会教育活動を支援する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
社会教育関係団体数	団体	目標	1,200	1,200	1,200	1,200	1,300	社会教育関係団体に登録している団体数
		実績	1,268	1,266	1,211		令和11年度	
講師謝礼助成	件	目標	60	60	55	45	45	社会教育関係団体の講師謝礼を助成した件数
		実績	36	27	35		令和11年度	
区民プロデュース型講座実施団体数	団体	目標	9	9	9	9	9	区民プロデュース型講座を実施した団体数
		実績	6	8	4		令和11年度	
生涯学習ボランティア保険加入団体数	団体	目標	50	50	70	70	70	生涯学習ボランティア保険に加入した団体数
		実績	48	46	43		令和11年度	

取組内容・実績	◆社会教育関係団体について、団体登録を促し区内文化施設を利用しやすくすることで、団体活動の支援につなげた。 ◆講師謝礼助成について、講師謝礼の補助を行うことで、団体活動の支援につなげた。 ◆区民プロデュース型講座について、団体が実施する講座の開催を支援することで、団体の会員拡大につなげた。 ◆生涯学習ボランティア保険について、少年少女団体の指導者・育成者のボランティアを対象に事故の補償を設けることで、団体活動の円滑な実施を支援した。
---------	---

指標の達成状況

◆令和2年度以降、社会教育関係団体は1,200団体以上の登録数を維持している。 ◆講師謝礼助成は、例年申請する社会教育関係団体構成員の高齢化による活動縮小などの影響により、目標に達しなかった。 ◆区民プロデュース型講座は、様々な団体に実施してもらうための要件を設定しているため、年度により申請団体の増減がある。 ◆生涯学習ボランティア保険については、毎年、継続して加入する団体が多く、新規団体数が増えず目標に達しなかった。
--

必要性・有効性

◆本事業は「生きがい」「夢」「つながり」を見つけることのきっかけとなる、各団体の諸活動の支援を目的としており、団体が自主的な活動を継続するうえで大きな役割を担っている。
--

4 予算・決算 (概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	700	671	0	29	95.9%
役務費	937	678	0	259	72.4%
委託料	1,240	589	0	651	47.5%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	682	526	0	156	77.1%
計	3,559	2,464	0	1,095	69.2%

決算額の主な内訳

- ◆需用費 671千円 (生涯学習ガイドブック作成費)
- ◆役務費 678千円 (郵便代、ボランティア保険料)
- ◆委託料 589千円 (区民プロデュース型講座委託費)
- ◆その他 526千円 (講師謝礼助成)

効率性

- ◆区民プロデュース型講座の実績が目標に達しなかったため、委託料の執行が想定に満たず、全体の執行率が69.2%にとどまった。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	6,496	2,510	-3,986
物件費	1,721	1,298	-423
うち委託料	1,095	589	-506
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	975	1,183	208
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,270	970	-300
その他	0	0	0
小計 D	10,462	5,961	-4,501
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-10,462	-5,961	4,501
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-10,462	-5,961	4,501
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-10,462	-5,961	4,501

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	542	771	229
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	542	771	229
その他	0	0	0
固定負債 S	3,414	4,926	1,512
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	3,414	4,926	1,512
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	3,956	5,697	1,741
正味財産の部	-3,956	-5,697	-1,741
正味財産の部合計 U	-3,956	-5,697	-1,741
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：74.2% 令和6年度：58.4%
- ◆主たる業務を直接区職員が行っているため、行政費用における人件費の割合が高くなっている。
- ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆区民プロデュース型講座について、実施団体数が想定に満たなかったため、周知の拡大など予算の範囲内で採択件数を増やせるよう新たな工夫を図っていく。
- ◆講師謝礼助成について、助成件数が減少傾向であるため、ニーズの分析を行い事業の縮小を検討する。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	文化芸術・スポーツ活動支援事業				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P40	政策の柱 基本的な考え方	伝統・文化を継承し親しみ環境づくり 区民の文化・芸術活動を支援する
総合実施計画	P50	実施計画事業 現況 必要事業量	文化・芸術に触れる機会の充実 - -
事業期間	平成21年度 ~	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	文化芸術基本法、品川区文化芸術・スポーツのまちづくり条例、品川区文化スポーツかがやき顕彰要綱、品川区文化芸術・スポーツ振興関係共催事業分担金交付要綱、しながわ文化活性化事業助成金交付要綱		

2 事業の目的・概要

目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆区民が気軽に文化芸術に触れ親しむために、幅広いジャンルの文化芸術事業を展開する。 ◆文化芸術団体や文化芸術資源の可能性や魅力を引き出し、観光や福祉といった他の分野と連携しながら、魅力あるまちづくりや地域の活性化につなげる。 ◆伝統文化や伝統芸能を次世代へ継承・発展・普及させるため、それらに触れる機会創出の支援を行う。 ◆区民等の自主的な文化芸術活動およびスポーツ活動を促進する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術団体が主体的に事業を運営できるよう区内で実施する文化芸術イベントを支援する。 ◆日常に溶け込んだ「文化・芸術」「観光」「地域の力」などを結集した、まちぐるみの文化イベントを開催する。 ◆(公財)十四世六平太記念財団との共催事業である「能楽鑑賞会」に対して支援を行う。 ◆文化芸術およびスポーツ活動で優秀な成績をおさめた生徒・児童等を顕彰する。
-------	--

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
能楽鑑賞会の来場者数 (年間)	人	目標	620	620	620	310	310	(公財)十四世六平太記念財団との共催である能楽鑑賞会の来場者数 ※令和3年度までは品川薪能の実績
		実績	473	492	462		令和11年度	
まちぐるみ文化イベント 来場者数	人	目標	10,000	15,000	18,000	19,000	20,000	まちぐるみ文化イベントの来場者数
		実績	22,030	23,079	15,500		令和11年度	
しながわ文化活性化事業 助成採択件数	件	目標	8	8	8	0	8	しながわ文化活性化事業助成金の採択事業の件数
		実績	7	9	8		令和6年度	
かがやき顕彰の件数(年間)	件	目標	25	25	30	30	30	品川区文化スポーツかがやき顕彰の顕彰件数
		実績	31	29	28		令和11年度	

取組内容・実績	<p>◆令和6年度は、国際手話を活かした能狂言である「“国際手話”で楽しむ能狂言鑑賞会」、雅楽を取り入れた「品川能楽鑑賞会」を喜多能楽堂で開催した。</p> <p>◆まちぐるみ文化イベントを開催。区内の文化芸術団体の協力や出展も取り入れ、区民のだれもが文化芸術を楽しめるよう努めた。</p> <p>◆しながわ文化活性化事業助成について、13件の申請のうち、文化イベント8件を採択した。各採択事業の準備から実施までのサポートとして、(公財)品川文化振興事業団と連携し、広報周知等の支援を行った。なお、東京2020大会のレガシーとしての文化芸術活動の支援という一定の役割を終えたため、令和6年度で廃止する。</p> <p>◆文化やスポーツの大会で優秀な成績をおさめた生徒・児童等を対象に顕彰をしている。令和6年度は、28件を顕彰した。</p> <p>◆まちなかアートでは、工事現場等の仮囲いにアートを掲げる。令和6年度は、東五反田二丁目の工事現場の仮囲いに掲出した。</p>
---------	---

指標の達成状況	<p>◆令和6年度の能楽鑑賞会の来場者数は、効果的な周知方法を確立できず計画を下回った。</p> <p>◆令和6年度のまちぐるみ文化イベント来場者数は、令和4・5年度とは異なり、単独開催となったため目標値に達しなかった。</p> <p>◆令和6年度のしながわ文化活性化事業助成採択件数は8件となり、目標値を達成できた。</p> <p>◆かがやき顕彰については、令和3年度以降計画を上回っていたが、令和6年度予算の増額により計画を引き上げたためわずかに目標値に達成できなかった。関係部署へ制度の存在を周知しており、認知度が高まっている。</p>
---------	---

必要性・有効性	<p>◆区民が「能楽」という伝統文化にふれる機会を創出する事業を支援することは有意義である。区が支援することで、普段あまり伝統文化に親しみのない区民の方が認知するきっかけとなり、伝統文化の継承や発展につながる。</p> <p>◆まちぐるみ文化イベントをきっかけに、区民が幅広いジャンルの文化芸術を楽しめる機会だけでなく、区内の様々な文化芸術団体やアーティストの出展、発表の機会も生まれる。また、荏原地区全体を会場にすることで、区民の方に荏原地区を知ってもらい、魅力を感じてもらおうといった地域の愛着心を育む土台づくりに寄与する。</p> <p>◆しながわ文化活性化事業助成は、東京2020大会のレガシーとしての一定の役割を終えたため令和6年度をもって廃止とする。</p> <p>◆文化やスポーツに励む生徒・児童等を顕彰することで、主体的な活動を促す効果が期待できる。</p> <p>◆「共生社会」をテーマにしたアートを掲出することで、共生社会に対する理解促進につなげることができる。</p>
---------	---

4 予算・決算(概要) (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	1,040	955	0	85	91.8%
役務費	0	0	0	0	0.0%
委託料	3,560	3,256	0	304	91.5%
使用料及び賃借料	200	0	0	200	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	19,780	19,654	0	126	99.4%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	24,580	23,865	0	715	97.1%

決算額の主な内訳	<p>◆需用費 955千円(かがやき顕彰横断幕等作成)</p> <p>◆委託料 3,256千円(しながわ文化活性化事業助成採択団体支援委託、仮囲いラッピングシート製作・設置、アートデータ製作委託)</p> <p>◆負担金補助及び交付金 19,654千円(能楽鑑賞会等運営負担金、まちぐるみ文化イベント運営負担金、しながわ文化活性化事業助成金)</p>
----------	---

効率性	<p>◆各文化芸術団体と共催で事業を実施することで効率的かつ効果的な企画・運営ができ、執行率も97.1%と高いものとなった。</p>
-----	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	12,225	2,700	-9,525	流動資産 0	0	0	0
物件費	2,765	4,231	1,466	収入未済	0	0	0
うち委託料	1,760	3,256	1,496	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	17,283	19,654	2,371	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,398	1,147	-1,251	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	34,671	27,731	-6,940	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	1,024	911	-113
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	1,024	911	-113
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	6,449	5,821	-628
行政収支差額 H=E-D	-34,671	-27,731	6,940	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	6,449	5,821	-628
通常収支差額 J=H+I	-34,671	-27,731	6,940	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	7,473	6,733	-740
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-7,473	-6,733	740
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-7,473	-6,733	740
当期収支差額 N=J+M	-34,671	-27,731	6,940	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項	<p>◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:42.2% 令和6年度:13.9%</p> <p>◆令和6年度について、費用のほとんどは、各事業に対する負担金補助および交付金である。</p>
-------	---

6 評価

(1) 所管評価	<p>【評価結果・今後の取組の方向性】</p> <p>◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善</p> <p>【説明】</p> <p>◆絶え間なく変化する文化芸術活動の支援のニーズに対して柔軟に対応することで、区民の「生きがい」「夢」「つながり」発見のきっかけづくりに貢献する。</p>
(2) 最終評価	<p>【評価結果・今後の取組の方向性】</p> <p>◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善</p> <p>【説明】</p> <p>◆所管評価に同意する。</p>

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	品川区民芸術祭経費				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P38	政策の柱 基本的な考え方	伝統・文化を継承し親しむ環境づくり 将来を支える次世代を育成する
総合実施計画	P50	実施計画事業 現況 必要事業量	文化・芸術に触れる機会の充実 - -
事業期間	平成22年度 ~	関連する個別計画等	品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョン
根拠法令要綱	品川区文化芸術・スポーツのまちづくり条例		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆区にゆかりのある音楽家・芸術家の協力を得ながら、区民の誰もが気軽に参加・鑑賞でき、質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を創出する。
【概要】	◆公益財団法人品川文化振興事業団との共催事業として実施する。 ◆区民による書道・写真・絵画・手工芸・華道などの芸術作品を展示する「区民作品展」を実施する。 ◆区内で活動するアマチュアの文化芸術団体・サークル活動の発表の機会を設ける「区民参加イベント（しながわアマチュアステージ）」を実施する。 ◆区内の小・中・高生・大学生・社会人による日頃の活動発表および交流の機会として「ティーンズコンサート」を実施する。 ◆品川ゆかりのプロの団体や個人の協力を得て、区民の誰もが親しめるよう、特に良質で安価なコンサートなどを提供し、芸術祭を通して文化芸術に「触れ・親しみ・楽しむ」ことができる環境を作る。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
芸術祭参加・鑑賞人数	人	目標	14,500	14,600	10,000	10,000	10,000	品川区民芸術祭期間（9月～11月に実施した「コンサート・アマチュアステージ・区民作品展」への参加者・来場者数
		実績	8,244	8,036	8,206		令和11年度	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆共催事業として公益財団法人品川文化振興事業団が「品川アーティスト展2024」、「ドリームステージ2024 Dream Dance」、「相武常雄 純・転・欽・展（O美術館企画展）」を実施した。また、「ドリームステージ2024 Dream Dance」では、音を体で感じる機器を用いた公演を実施した。 ◆「区民作品展」については、日ごろの活動の成果発表の場として開催。区民の創作意欲の向上に寄与した。 ◆「区民参加イベント」については、運営の詳細なマニュアルを作成するなど参加団体をサポートし、自主的な運営ができる環境を整えたことで、参加団体の主体性が高まるイベントとなった。また団体同士の活動の幅が広がるきっかけづくりに寄与した。 ◆「ティーンズコンサート」については、区内の学生が日頃の練習成果を発表する場と社会人も含めた幅広い世代が集まり交流を深める場の創出に貢献した。
---------	--

指標の達成状況	◆区民参加イベントや音楽部門など一部の事業を中止した令和3年度に対して、令和4年度は全事業を実施したが、入場者を制限するなど対策を行ったため、前年度より参加人数は増加したが目標値には届かなかった。 ◆令和5年度は区民参加イベントは参加人数が増加したが、O美術館企画展や区民作品展など入場者が減少したため、目標値には届かなかった。 ◆令和6年度は目標値には届かなかったが、周知方法などを見直した結果、参加人数が微増した。
---------	---

必要性・有効性	◆区民が日常的に実施している文化芸術活動を発表する場が求められており、アマチュアステージはその場としての役割を担っている。 ◆区民の感性をより豊かなものにするため、気軽に文化芸術に触れることができる機会の創出が求められており、区民作品展や品川文化振興事業団が実施するコンサート等の事業はその機会としての役割を担っている。 ◆本事業は文化・芸術活動とおし「生きがい」「夢」「自己表現」の喜びを見つけることのきっかけとなり、区民の幸福（しあわせ）を実現するため必要な事業となっている。 ◆一方で、事業開始から15年が経過しており、賑わいや回遊性の面で課題が顕在化してきている。
---------	---

4 予算・決算（概要） (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	1,207	975	0	232	80.8%
役務費	549	222	0	327	40.4%
委託料	5,178	4,879	0	299	94.2%
使用料及び賃借料	2,673	2,507	0	166	93.8%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	23,371	20,908	0	2,463	89.5%
その他	762	757	0	5	99.3%
計	33,740	30,250	0	3,490	89.7%

決算額の主な内訳	◆需用費 975千円（チラシ印刷他） ◆委託費 4,879千円（作品展会場設置等委託他） ◆使用料及び賃借料 2,507千円（区民参加イベント等施設使用料） ◆負担金補助及び交付金 20,908千円（品川文化振興事業団分担金）
効率性	◆品川区の地域文化団体に精通している公益財団法人品川文化振興事業団と共催で実施することで、効率的効果的に事業を実施できた ◆ただし、指標として掲げている「芸術祭参加・鑑賞人数」は目標に届いていない状況が継続しているため、費用対効果を含め検討する必要がある。

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	10,793	3,309	-7,484	流動資産 0	0	0	0
物件費	6,668	8,602	1,934	収入未済	0	0	0
うち委託料	2,795	4,879	2,084	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	21,125	21,670	545	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,116	1,323	-793	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	40,702	34,904	-5,798	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	904	1,052	148
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	904	1,052	148
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	5,690	6,717	1,027
行政収支差額 H=E-D	-40,702	-34,904	5,798	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	5,690	6,717	1,027
通常収支差額 J=H+I	-40,702	-34,904	5,798	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	6,594	7,768	1,174
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-6,594	-7,768	-1,174
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-6,594	-7,768	-1,174
当期収支差額 N=J+M	-40,702	-34,904	5,798	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0
特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：31.7% 令和6年度：13.3% ◆費用の大半を占める補助費等は品川文化振興事業団への分担金であり、全体の大きな割合を占めている。 ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。						

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆令和8年度以降の事業の在り方について、効果的な手法をゼロベースで検討し、事業の認知度および満足度の向上を図っていく。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆区がつなぎ役となり、多様な主体（特に民間企業・団体等）との協働による区のアートブランディングを検討すること。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	品川文化振興事業団助成金					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	政策の柱 基本的な考え方	伝統・文化を継承し親しむ環境づくり 区民の文化・芸術活動を支援する
総合実施計画	実施計画事業	-
	現況	-
	必要事業量	-
事業期間	昭和61年度 ~	関連する個別計画等
根拠法令要綱	品川区補助金等交付規則、公益財団法人品川文化振興事業団に対する助成に関する条例、公益財団法人品川文化振興事業団補助金交付要綱	

2 事業の目的・概要

目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆区民の高度で多様化した文化的要望に応えるとともに、文化の振興を通して、ゆとりと潤いのある地域社会づくりに寄与する。 <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域で文化・芸術活動を行うアーティストの活動を支援するとともに、地域団体等との連携を図る。 ◆事業団情報紙 i n f o C U R I A (紙・電子)により区内文化・芸術活動を周知および発信する。 ◆区民に身近な施設において安価にてカルチャー講座を開講・運営し、区民の生涯学習の推進を図る。 ◆芸術団体および地域住民の発表の場として美術館を運営・提供し、芸術を身近に感じられる機会を提供する。 ◆落語や映画、バレエ、音楽など多彩なジャンルおよび、有名アーティストから区にゆかりのあるアーティストまで、幅広い出演者による文化・芸術公演を区民が安価で楽しむことができる環境を提供する。
-------	---

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
ゆかりアーティスト登録者数	人	目標	80	90	95	95	100	
		実績	83	92	91		令和11年度	
〇美術館来館者数	人	目標	23,000	25,000	25,000	26,000	28,000	
		実績	23,605	24,496	28,619		令和11年度	
メイプルカルチャーセンター受講者数	人	目標	3,500	5,000	5,000	5,500	9,000	
		実績	3,262	4,310	5,043		令和11年度	
主催・共催公演入場者数	人	目標	7,000	10,000	16,000	16,000	20,000	
		実績	6,582	15,499	24,525		令和11年度	

取組内容・実績	<p>◆地域イベントにゆかりアーティストやアート応援マスコット「しなと」を派遣し、地域の文化・芸術の振興を図った。</p> <p>◆メイプルカルチャーセンターでは、令和6年11月から講座料や教材費についてクレジットカードによるキャッシュレス決済を導入した。</p> <p>◆積極的に大ホール等の会場使用の誘致を行い、共催事業の回数を増やすことで、主催事業減による経費の削減・魅力的かつ質の高い公演を区民へ提供することができた。</p>
---------	---

指標の達成状況	<p>◆アート応援マスコット「しなと」を活用したSNSの発信、積極的な地域イベントへの参加により、ゆかりアーティストの登録増を目指している。</p> <p>◆〇美術館の来館者は、毎年増加している。施設の補修を継続的にを行い、使いやす環境づくりに努め、今後も更なる利用者増を目指す。</p> <p>◆メイプルカルチャーセンターの受講者数について、地域のニーズに応えた講座を増やすことにより前年度と比べて大幅に上昇した。</p> <p>◆主催・共催公演入場者数について、令和6年度は共済事業の中で27回(3部×9日)実施した公演があり、指標を大幅に上回った。令和7年度は経常ベースに戻る予定である。</p>
---------	---

必要性・有効性	<p>◆多角的に文化芸術・生涯学習事業を展開することにより、活力と賑わいのあるまちづくりに貢献している。</p> <p>◆地域の文化芸術団体等と連携して事業を展開しているほか、区内各所で実施する事業の周知等も行っており、地域全体での文化・芸術レベルの向上に寄与している。</p>
---------	---

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	0	0	0	0	0.0%
役務費	0	0	0	0	0.0%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	330,999	290,130	0	40,869	87.7%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	330,999	290,130	0	40,869	87.7%

決算額の主な内訳	◆負担金補助及び交付金 290,130千円(品川文化振興事業団助成金)
----------	-------------------------------------

効率性	◆条例に基づく補助金ではあるが、費用対効果を鑑み、引き続き予算の精査に努める。
-----	---

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	2,814	882	-1,932	流動資産 〇	0	0	0
物件費	0	6	6	収入未済	0	0	0
うち委託料	0	0	0	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	477,041	6,299	-470,742
補助費等	285,444	290,130	4,686	土地	0	0	0
減価償却費	743	743	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	7,041	6,299	-742
賞与退職引当金繰入額 X	564	353	-211	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	289,565	292,114	2,549	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	470,000	0	-470,000
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=〇+P	477,041	6,299	-470,742
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	241	280	39
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	241	280	39
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	1,517	1,791	274
行政収支差額 H=E-D	-289,565	-292,114	-2,549	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	1,517	1,791	274
通常収支差額 J=H+I	-289,565	-292,114	-2,549	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	1,758	2,072	314
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	475,283	4,227	-471,056
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	475,283	4,227	-471,056
当期収支差額 N=J+M	-289,565	-292,114	-2,549	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	477,041	6,299	-470,742
特徴的事項	<p>◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:1.2% 令和6年度:0.4%</p> <p>◆補助費等がコストの大勢を占める。補助額は収益を相殺した額であり、収入額は計上されておらず全額が費用となるため、収支差額はマイナスとなる。</p>						

6 評価

(1) 所管評価	<p>【評価結果・今後の取組の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆B 継続する事業 ◆現状維持 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今後も地域に寄り添いつつ文化芸術の振興を図ることは必須であるため、継続して実施する。
(2) 最終評価	<p>【評価結果・今後の取組の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆助成金の費用対効果を検証し、効率的な文化振興の取組みを模索しつつ、予算の精査に努める。

令和 7年度 事務事業評価シート (令和 6年度実施事業)

小事業名	文化活動関係事務費				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	文化観光費		事業	文化活動支援事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	政策の柱	基本的な考え方	-
総合実施計画	実施計画事業	現況	-
	必要事業量		-
	事業期間	~	関連する個別計画等
根拠法令要綱			

2 事業の目的・概要

【目的】	◆文化観光戦略課における各種事務事業の執行上必要な事務用品等の整備を行い、各係の事務事業の円滑な執行を確保する。
【概要】	◆課内共通事務経費の管理を行う。 ①事務用品(文具・用紙代他) ②全国人権・同和教育研究大会等、各種大会参加費および旅費

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)	令和 7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆課内消耗品(複合機印刷料、課内事務用品、雑誌購読、名刺等)の購入。 ◆本職員の近接地内外旅費の支出。 ◆施設予約システムの利用料について、デジタル推進課への執行委任。
---------	--

指標の達成状況	
---------	--

必要性・有効性	◆文化観光戦略課の円滑な事務事業の執行にあたり、必要な経費である。
---------	-----------------------------------

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	2,589	2,557	0	32	98.8%
役員費	160	96	0	64	60.0%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	9,173	9,172	0	1	100.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	14	14	0	0	100.0%
その他	327	193	0	134	59.0%
計	12,263	12,033	0	230	98.1%

決算額の主な内訳	◆需用費 2,557千円(課内事務用品、電子複写機使用賃借および消耗品供給 他) ◆使用料及び賃借料 9,172千円(施設予約システム利用料)
----------	--

効率性	◆執行率は98.1%と予算内において効率的に執行している。 ◆令和6年度から、施設予約システムがリニューアルしたことでランニングコストが変動しており、以降もシステム稼働が軌道に乗るまでは継続的な変動が見込まれる。
-----	---

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	7,212	10,340	3,128	流動資産 0	0	0	0
物件費	6,135	11,975	5,840	収入未済	0	0	0
うち委託料	0	0	0	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	21	67	46	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	15	53	38	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,411	3,616	2,205	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	14,793	26,051	11,258	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	602	2,874	2,272
都支支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	602	2,874	2,272
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	3,794	18,359	14,565
行政収支差額 H=E-D	-14,793	-26,051	-11,258	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	3,794	18,359	14,565
通常収支差額 J=H+I	-14,793	-26,051	-11,258	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	4,396	21,234	16,838
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-4,396	-21,234	-16,838
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-4,396	-21,234	-16,838
当期収支差額 N=J+M	-14,793	-26,051	-11,258	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0
特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和 5年度: 58.3% 令和 6年度: 53.6% ◆令和6年度について、行政費用の約8割は旅費等含む給与関係費および物件費である。 ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。						

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆文化観光戦略課の円滑な事務事業の執行を行うため、今後も継続をする。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆引き続き適正な事務事業の執行に努めるとともに、DX推進基本方針に基づき、行政サービスの質の向上や行政運営の効率化を図っていく。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	区民学習支援経費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費			事業	生涯学習推進事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	生涯学習係

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画	P42	実施計画事業 現況 必要事業量	しながわ学びの杜等の充実 - -
事業期間	昭和50年度 ~		関連する個別計画等
根拠法令要綱	社会教育法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆学習のきっかけづくりとなるような幅広いジャンルの講座を実施し、行政課題への関心や郷土愛を育む。また、差別のない明るいまちづくりをめざし、人権差別（同和）問題の啓発を主軸に人権尊重教育の充実を図る。
【概要】	◆専門講座の実施 ◆地域講座の実施 ◆しながわ学の実施 ◆しながわ塾の実施 ◆パートナーシップ講座の実施 ◆しながわ学びの杜特別講演会の実施 ◆チャレンジ塾の実施 ◆講座のインターネット配信の実施 ◆人権啓発・社会同和教育講座Ⅰの実施 ◆人権啓発・社会同和教育講座Ⅱの実施

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
オープンカレッジの実施【年間】	回	目標	122	122	134	134	134	オープンカレッジ講座実施回数
		実績	121	132	123		令和11年度	
オープンカレッジ延べ参加人数	人	目標	9,900	10,000	7,000	7,000	7,000	オープンカレッジ延べ参加人数
		実績	5,432	6,600	6,911		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆16歳以上の区内在住・在勤・在学の方を対象に、区の主催講座や区内大学との共催講座等を実施した。 ※チャレンジ塾は知的障害（愛の手帳）がある方のみを対象としている。 ◆パートナーシップ講座は、大学等と協議の上、対面開催・オンライン開催など多様な開講方法で実施した。
---------	--

指標の達成状況

◆令和6年度の実施回数は、パートナーシップ講座実施校（大学等）の開催回数の減少により令和5年度を下回り、目標値に達しなかった。 ◆令和6年度の延べ参加人数は、単年度開催「SDGs講演会」（環境課との共催イベント）の実施により目標値に近づいたが、パートナーシップ講座実施校（大学等）の開催回数の減少により「SDGs講演会」を除いた延べ参加人数は令和5年度を下回った。

必要性・有効性

◆区民の生きがいづくりや、学びなおし（リカレント教育）につながる幅広い分野での学びの機会を提供しており、必要性は高い。 ◆区内大学等と共催講座を実施し、生涯学習を通じて地域連携を図ることができる。

4 予算・決算（概要）

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	2,427	2,061	0	366	84.9%
役務費	161	146	0	15	90.7%
委託料	341	158	0	183	46.3%
使用料及び賃借料	583	333	0	250	57.1%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	4,200	3,172	0	1,028	75.5%
計	7,712	5,870	0	1,842	76.1%

決算額の主な内訳

- ◆需用費 2,061千円（開催要項チラシ・ポスター、事務用品他）
- ◆その他 3,172千円（講師謝礼他）

効率性

- ◆事業コンセプトが類似している地域講座・しながわ学・しながわ塾は、令和8年度に向け、明確化や統合を検討中である。
- ◆チャレンジ塾は、内容をさらに充実させ周知・案内を拡大し、参加者の増加に努めたにもかかわらず、定員10名に対して参加者は4名であったが、講師の理解により実施することができた。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	20,666	7,446	-13,220
物件費	2,928	2,790	-138
うち委託料	297	158	-139
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	2,742	3,130	388
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	4,091	2,911	-1,180
その他	0	0	0
小計 D	30,427	16,277	-14,150
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	3,620	3,597	-23
小計 E	3,620	3,597	-23
行政収支差額 H=E-D	-26,807	-12,680	14,127
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-26,807	-12,680	14,127
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-26,807	-12,680	14,127

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	1,747	2,313	566
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,747	2,313	566
その他	0	0	0
固定負債 S	11,001	14,777	3,776
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	11,001	14,777	3,776
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	12,748	17,090	4,342
正味財産の部	-12,748	-17,090	-4,342
正味財産の部 合計 U	-12,748	-17,090	-4,342
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：81.4% 令和6年度：63.6%
- ◆主たる業務を区職員が行っているため、行政費用における人件費の割合が高くなっている。
- ◆単年度開催「SDGs講演会」の実施により、「補助費等」が増加している。
- ◆行政収入のその他には、講座受講料と公益財団法人地域社会振興財団による交付金が計上されている。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆令和8年度に向け、コンセプトが類似している事業の棲み分け、廃止や統合等、事業体系の見直しの検討を進める。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	シルバー大学					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	生涯学習推進事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	生涯学習係

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画	P42	実施計画事業 現況 必要事業量	しながわ学びの杜等の充実 - -
事業期間	平成5年度～		関連する個別計画等
根拠法令要綱	社会教育法 品川シルバー大学設置に関する要綱		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆高齢者がいきがいをもち、心豊かな生活をおくれるよう、高齢者の学習事業を体系化し、同時に幅広い学習機会を提供する。
【概要】	◆ふれあいアカデミーの実施 ◆うるおい塾の実施 ◆生涯現役実現講座の実施

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
シルバー大学の実施【年間】	回	目標	664	664	626	626	626	シルバー大学講座実施回数
		実績	556	626	606		令和11年度	
品川シルバー大学延べ参加人数	人	目標	14,500	14,900	14,200	14,200	14,200	品川シルバー大学延べ参加人数
		実績	7,934	9,686	10,140		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆3年制のふれあいアカデミー1年目のふれあいコースは、ふれあいコースを修了した2・3年生の企画委員（学生ボランティア）が講座の企画・運営を行っている。1年生は班を編成し研究テーマを決め、1年間の締めくくりとして開催する「ふれあい発表会」に向けて班活動を行うが、班活動を企画委員が支援することで、学生間の親睦をより一層深めている。 ◆うるおい塾は、書道・体操・パソコンなどの教室を全10回、春期24教室・秋期24教室にて実施した。定員は内容に応じて各教室10～20名に設定し開催した。
---------	--

指標の達成状況

◆令和6年度の実施回数は、うるおい塾の開催教室数が減少したため令和5年度を下回り、目標値に達しなかった。 ◆令和6年度の延べ参加人数は、ふれあいアカデミーでは開講直前のキャンセルや講座途中での受講辞退があったり、うるおい塾では開催教室数が減少したものの、うるおい塾各教室の参加人数は増加したため、令和5年度を上回った。
--

必要性・有効性

◆高齢者の生きがいづくりや仲間づくり、学びなおし（リカレント教育）につながる幅広い分野での学びの機会を提供しているという点からも、必要性は高い。
--

4 予算・決算（概要）

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	1,458	1,394	0	64	95.6%
役員費	655	467	0	188	71.3%
委託料	1,100	1,100	0	0	100.0%
使用料及び賃借料	2,302	1,866	0	436	81.1%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	9,007	7,681	0	1,326	85.3%
計	14,522	12,509	0	2,013	86.1%

決算額の主な内訳

- ◆需用費 1,394千円（開催要項チラシ、事務用品他）
- ◆委託料 1,100千円（シルバー大学開講準備委託、いきいきコース講座企画運営委託）
- ◆使用料及び賃借料 1,866千円（会場使用料、見学会バス借上げ他）
- ◆その他 7,681千円（講師謝礼他）

効率性

- ◆シルバー人材センターに開講準備作業の一部を委託し、効率的に事業を実施した。
- ◆区民集会所や文化センター等の無料施設の利用が年々困難になってきており、有料施設を利用せざるを得ない状況がある。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	22,048	7,362	-14,686
物件費	5,520	4,891	-629
うち委託料	1,059	1,100	41
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	7,947	7,669	-278
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	4,373	2,911	-1,462
その他	0	0	0
小計 D	39,888	22,832	-17,056
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	6,042	6,044	2
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	2,230	2,406	176
小計 E	8,272	8,450	178
行政収支差額 H=E-D	-31,616	-14,383	17,233
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-31,616	-14,383	17,233
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-31,616	-14,383	17,233

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	1,867	2,313	446
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,867	2,313	446
その他	0	0	0
固定負債 S	11,760	14,777	3,017
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	11,760	14,777	3,017
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	13,628	17,090	3,462
正味財産の部	-13,628	-17,090	-3,462
正味財産の部合計 U	-13,628	-17,090	-3,462
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：66.2% 令和6年度：45.0%
- ◆都支出金には、都補助金（人生100時代セカンドライフ応援事業補助金）が計上されている。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆ふれあいアカデミーの入学定員やうるおい塾の教室数については、現状の運営に即した規模となるよう再検討する。
- ◆事業体系の見直しにより、生涯現役実現講座は令和8年度に向け、区民学習支援経費事業の一部講座との統合を検討する。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	障害者の学習活動支援					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	生涯学習推進事業	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	生涯学習係

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画	P42	実施計画事業 現況 必要事業量	しながわ学びの杜等の充実 - -
事業期間	昭和58年度 ~	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	社会教育法 日曜サークル青年コース運営要領、日曜サークル自主コース運営要領、日曜サークル成人コース運営要領		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆区内在住の軽度の知的障害がある区民を対象に、集団活動をととして生きる力・働く力を育て社会生活での自立の一助とする。 ①仲間づくり ②社会性の育成 ③余暇の活用 ④生活技術の向上	
【概要】 ◆日曜サークル青年コースの実施 ◆日曜サークル自主コースの実施 ◆日曜サークル成人コースの実施	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
日曜サークルの実施【年間】	回	目標	41	41	41	40	40	日曜サークル実施回数
		実績	41	41	39		令和11年度	
日曜サークル延べ参加人数	人	目標	1,100	1,100	800	800	800	日曜サークル延べ参加人数
		実績	681	794	765		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆青年コースは、16歳以上30歳未満の方を対象に、グループ活動・趣味講座・宿泊活動など、年間13回の活動を行った。 ◆自主コースは、青年コースに6年以上在籍した方を対象に、外出・宿泊などのグループ活動など、年間13回の活動を行った。 ◆成人コースは、30歳以上の方を対象に、手芸・工芸・調理実習・外出活動・バスハイクなど、年間13回の活動を行った。	

指標の達成状況	◆令和6年度の実施回数および延べ参加人数は、台風の影響で中止した回があったため、令和5年度より減少した。
---------	--

必要性・有効性	◆軽度知的障害者が社会性を身につけ、社会生活での自立を促す役割を担っているため、必要性は高い。
---------	---

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	76	64	0	12	84.2%
役務費	354	310	0	44	87.6%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	2,104	1,824	0	280	86.7%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	6,731	5,283	0	1,448	78.5%
計	9,265	7,481	0	1,784	80.7%

決算額の主な内訳	◆使用料及び賃借料 1,824千円(施設入場料、特別活動バス借上げ) ◆その他 5,283千円(スタッフ謝礼他)
----------	---

効率性	◆障害者への理解と地域貢献への意欲が高いボランティアに運営を委嘱する事によって、効果的に事業を実施した。
-----	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	11,458	3,529	-7,929	流動資産 0	0	0	0
物件費	1,660	2,307	647	収入未済	0	0	0
うち委託料	0	0	0	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	5,250	5,198	-52	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,257	1,411	-846	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	20,625	12,445	-8,180	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	964	1,122	158
都支出金	0	3,740	3,740	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	964	1,122	158
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	3,740	3,740	固定負債 S	6,070	7,165	1,095
行政収支差額 H=E-D	-20,625	-8,705	11,920	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	6,070	7,165	1,095
通常収支差額 J=H+I	-20,625	-8,705	11,920	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	7,034	8,286	1,252
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-7,034	-8,286	-1,252
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-7,034	-8,286	-1,252
当期収支差額 N=J+M	-20,625	-8,705	11,920	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0
特徴的事項							
◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:66.5% 令和6年度:39.7% ◆都支出金には、都補助金(障害者施策推進区市町村包括補助事業補助金)が計上されている。							

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆各コースの高齢化が進む等、各コースの特色が薄れているため、参加しやすい環境を見直し、コース区分の再検討を行う。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	総合区民会館運営費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化コミュニティ施設経費	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成元年度～	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	品川区立総合区民会館条例、品川区立総合区民会館条例施行規則、(公財)品川文化振興事業団に対する助成に関する条例		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆区民への文化・芸術促進事業展開、文化コミュニティ活動の振興および区民相互の文化活動の拠点としての場の提供を目的とし、品川区立総合区民会館(きゅりあん)を運営する。	
【内容】 ◆指定管理者による管理運営：多様化する区民の文化・コミュニティ活動に弾力的に対応し、高水準の利用者サービスを行うため、平成18年度から(財)品川文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行わせている。(令和2年度に指定管理者候補者選定を行い、引き続き令和3年度から5年間管理運営を行わせる。) ◆総合区民会館の区専有部分・駐車場・共用部分のビル管理委託および光熱水費など、大井町再開発ビル全体を総合的・効率的に管理するため、指定管理者を通して、(株)品川都市整備公社に一括管理委託している。	
【施設概要】 ◆敷地面積 約5,055㎡ 延床面積 約41,655㎡ 諸室 ①大ホール1,074席 ②小ホール336席 ③その他(イベントホールなど)	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
利用者満足度	%	目標	90.0	95.0	95.0	95.0	95.0	利用者アンケート(毎年7月の1か月間実施)『満足』『やや満足』の割合
		実績	0	0	91.4		令和11年度	
大ホール利用率	%	目標	0	85.0	90.0	90.0	90.0	利用件数/利用可能件数×100
		実績	0	94.6	89.9		令和11年度	
小ホール利用率	%	目標	70.0	85.0	85.0	90.0	90.0	利用件数/利用可能件数×100
		実績	80.4	83.6	88.2		令和11年度	
イベントホール利用率	%	目標	80.0	95.0	95.0	95.0	95.0	利用件数/利用可能件数×100
		実績	91.2	91.0	95.9		令和11年度	

取組内容・実績	
◆(公財)品川文化振興事業団を指定管理者として、品川区総合区民会館の管理運営業務を行った。 ◆総合区民会館および大井町再開発ビル駐車場の管理、警備を委託することにより、適切な管理運営を行った。 ◆品川区や(公財)品川文化振興事業団として実施する事業等を支援することで、品川区民の文化・芸術活動の振興を図った。 ◆令和6年度は施設の適切な管理運営のため、授乳室防犯ブザー・鏡設置工事を実施した。	

指標の達成状況

◆利用者アンケートによる満足度は高い評価を得ている。なお、令和4年度、5年度は大規模改修中であることからアンケートは実施しなかった。 ◆令和4年度の大ホールは大規模改修中(令和4年2月～令和5年9月まで)であることから、利用率の実績は0%であった。 ◆令和5年10月に大ホールを含む全館リニューアルオープンを迎え、概ね各施設の利用率は上昇傾向にある。

必要性・有効性

◆品川区を代表する文化芸術振興施設であり、地域の防災拠点(帰宅困難者受入れ施設等)としても重要な役割を担っている。 ◆利用者アンケートによる満足度は高く、フリーWi-Fiの導入や決済方法の多様化により、令和6年度は91.4%であった。
--

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	556	548	0	8	98.6%
役務費	0	0	0	0	0.0%
委託料	174,003	140,135	0	33,868	80.5%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	600	581	0	19	96.8%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	171,243	158,497	0	12,746	92.6%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	346,402	299,762	0	46,640	86.5%

決算額の主な内訳

- ◆委託料 140,135千円(指定管理経費、管理・警備委託他)
- ◆工事請負費 581千円(授乳室防犯ブザー・鏡設置工事)
- ◆負担金補助及び交付金 158,497千円(共用部分管理費、光熱水費、計画修繕負担金)

効率性

- ◆品川区の地域文化団体に精通している(公財)品川文化振興事業団が指定管理者として運営することで、効果的に運営している。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	12,173	1,388	-10,785
物件費	171,464	140,696	-30,768
うち委託料	179,986	140,135	-39,851
維持補修費	165	0	-165
扶助費	0	0	0
補助費等	113,027	124,296	11,269
減価償却費	144,742	314,603	169,861
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,398	706	-1,692
その他	60,157	34,783	-25,374
小計 D	504,126	616,471	112,345
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	44,773	44,575	-198
小計 E	44,773	44,575	-198
行政収支差額 H=E-D	-459,353	-571,897	-112,544
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-459,353	-571,897	-112,544
特別費用 小計 K	837	0	-837
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	-837	0	837
当期収支差額 N=J+M	-460,191	-571,897	-111,706

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	13,828,176	13,513,573	-314,603
土地	3,547,399	3,547,399	0
建物	10,250,198	9,940,719	-309,479
工作物	0	0	0
重要物品	30,579	25,455	-5,124
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	13,828,176	13,513,573	-314,603
流動負債 R	1,024	561	-463
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,024	561	-463
その他	0	0	0
固定負債 S	6,449	3,582	-2,867
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	6,449	3,582	-2,867
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	7,473	4,143	-3,330
正味財産の部	13,820,703	13,509,430	-311,273
正味財産の部合計 U	13,820,703	13,509,430	-311,273
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	13,828,176	13,513,573	-314,603

特徴的事項

- ◆人件費比率(Y=(W+X)÷D) 令和5年度:2.9% 令和6年度:0.3%
- ◆施設の運営にあたり指定管理制度を導入しているため、行政費用における物件費(委託料)の割合が高くなっている。
- ◆固定資産には、総合区民会館の建物、土地等が計上されている。

6 評価

(1)所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

- ◆指定管理者と連携し、総合区民会館の円滑な運営事業を継続する。

(2)最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆コロナ禍で変化した利用者ニーズを的確に捉え、指定管理者と連携しサービス向上に創意工夫を図ることで、利用者の増加に努めるとともに、指定管理料の縮減に努める。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	荏原平塚総合区民会館運営費				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	文化観光費		事業	文化コミュニティ施設経費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課	担当係	文化観光戦略担当

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成25年度 ~	関連する個別計画等	品川区文化スポーツ施設長寿命化計画
根拠法令要綱	品川区立荏原平塚総合区民会館条例・品川区立荏原平塚総合区民会館条例施行規則、品川区文化芸術・スポーツのまちづくり条例、(公財)品川文化振興事業団に対する助成に関する条例		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆区民への文化・芸術およびスポーツ活動の促進事業展開、文化コミュニティ活動の振興および区民相互の文化活動拠点の提供を目的とし、品川区立荏原平塚総合区民会館(スクエア荏原)を運営する。	
【内容】 ◆指定管理者による管理運営：条例第12条の規定に基づき、多様化する区民の文化・コミュニティ活動に弾力的に対応し、高水準の利用者サービスを行うため、平成25年度から(公財)品川文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行わせている。(令和5年度に指定管理者の更新を行い、引き続き令和9年度までの5年度間管理運営を行わせる。)	
【施設概要】 敷地面積 約9,133㎡(区立平塚公園 約724㎡を含む) 延床面積 約8,723.79㎡ ◆諸室 ①ひらつかホール 362席 ②イベントホール 457㎡ ③アリーナ 756㎡ ④その他(会議室・和室・スタジオ・喫茶室)	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
利用者満足度	%	目標	90.0	95.0	95.0	95.0	95.0	利用者アンケート(毎年2~3月の1か月間実施)『満足』『やや満足』の割合
		実績	89.8	95.4	96.0		令和11年度	
ひらつかホール利用率	%	目標	80.0	90.0	90.0	95.0	95.0	利用件数/(利用可能回数-利用制限数)
		実績	88.0	88.5	90.4		令和11年度	
イベントホール利用率	%	目標	70.0	90.0	90.0	95.0	95.0	利用件数/(利用可能回数-利用制限数)
		実績	85.3	83.5	91.4		令和11年度	
アリーナ利用率	%	目標	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	利用件数/(利用可能回数-利用制限数)
		実績	100.0	100.0	100.0		令和11年度	

取組内容・実績
◆区民避難所として指定されており地域の防災拠点であることから、防災訓練を年に2回実施するとともに、同一敷地内の平塚すこやか園と年に1度、合同防災訓練を実施している。また、近隣3町会とともに「避難所連絡会議」を開催し、毎年12月に避難所訓練を実施している。 ◆令和6年度は貸館事業だけでなく、自主事業としてあじさい寄席、もみじ寄席、映画上映等を実施し、区民が気軽に鑑賞できる機会を提供した。 ◆令和6年度は施設の適切な管理運営のため、以下の改修等を実施した。 ①冷温水発生機2号機電気計装部品改修工事実施、②防犯カメラ増設工事実施、③前広場ウッドデッキ板交換工事実施

指標の達成状況

◆施設利用率について、ホール、アリーナともに9割以上を達成している。 ◆利用者アンケートによる満足度は高く、フリーWi-Fiの導入や決済方法の多様化により、令和6年度は96.0%であった。

必要性・有効性

◆荏原地区を代表する文化芸術振興施設として周辺町会のまつり会場として活用される等、地域と共に交流の拠点となっている。 ◆地域の防災拠点(区民避難所)としても重要な役割を担っている。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	33,767	29,570	0	4,197	87.6%
役務費	0	0	0	0	0.0%
委託料	161,448	153,999	0	7,449	95.4%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	13,780	8,048	0	5,732	58.4%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	208,995	191,617	0	17,378	91.7%

決算額の内訳

- ◆需用費 29,570千円(光熱水費他)
- ◆委託料 153,999千円(指定管理経費、ひらつかホール天井落下防止対策工事実施設計業務委託、施設管理運営委託他)
- ◆工事請負費 8,048千円(防犯カメラ設置工事、冷温水発生機2号機電気計装部品改修工事他)

効率性

- ◆品川区の地域文化団体に精通している(公財)品川文化振興事業団が指定管理者として運営することで効果的に運営した。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	6,293	1,985	-4,308
物件費	156,645	161,872	5,227
うち委託料	129,977	132,289	2,312
維持補修費	6,873	100	-6,773
扶助費	0	0	0
補助費等	0	0	0
減価償却費	60,790	62,037	1,247
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,270	794	-476
その他	8,365	29,659	21,294
小計 D	240,235	256,447	16,212
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	988	1,037	49
小計 E	988	1,037	49
行政収支差額 H=E-D	-239,247	-255,409	-16,162
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-239,247	-255,409	-16,162
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-239,247	-255,409	-16,162

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	6,207,481	6,145,444	-62,037
土地	3,800,113	3,800,113	0
建物	2,396,757	2,335,872	-60,885
工作物	0	0	0
重要物品	10,611	9,458	-1,153
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	6,207,481	6,145,444	-62,037
流動負債 R	542	631	89
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	542	631	89
その他	0	0	0
固定負債 S	3,414	4,030	616
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	3,414	4,030	616
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	3,956	4,661	705
正味財産の部	6,203,525	6,140,783	-62,742
正味財産の部 合計 U	6,203,525	6,140,783	-62,742
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	6,207,481	6,145,444	-62,037

特徴的事項

- ◆人件費比率(Y=(W+X)÷D) 令和5年度:3.1% 令和6年度:1.1%
- ◆施設の運営にあたり指定管理者制度を導入しているため、行政費用における物件費(委託料)の割合が高くなっている。
- ◆固定資産には、荏原平塚総合区民会館の土地、建物等が計上されている。

6 評価

(1)所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

- ◆指定管理者と連携し、荏原平塚総合区民会館の円滑な運営を継続する。

(2)最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆コロナ禍で変化した利用者ニーズを的確に捉え、指定管理者と連携しサービス向上に創意工夫を図ることで、利用者の増加に努めるとともに、指定管理料の縮減に努める。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	文化センター運営費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化コミュニティ施設経費	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	文化観光戦略課担当

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和47年度 ~	関連する個別計画等	品川区文化スポーツ施設長寿命化計画
根拠法令要綱	品川区立文化センター条例、品川区立文化センター条例施行規則、品川区文化芸術・スポーツのまちづくり条例		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆文化センター（5館：五反田、荏原、東品川、旗の台、南大井）を円滑に維持運営し、区民に文化・スポーツの場を提供する。	
【施設概要】 ◆五反田：講習室、会議室、音楽ホール、楽屋、スタジオ、託児室、プラネタリウム ◆荏原：講習室、料理講習室、レクリエーションホール、会議室、グループ室、大ホール、温水プール ◆東品川：講習室、会議室、美術工芸室、視聴覚室、レクリエーションホール、スポーツ室、託児室、グループ室 ◆旗の台：会議室、レクリエーションホール、スポーツ室、グループ室 ◆南大井：講習室、レクリエーションホール、美術工芸室、スポーツ室、託児室、グループ室	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
貸室利用件数	件	目標	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	全文化センターの貸室利用件数
		実績	32,705	34,386	33,356		令和11年度	
貸室利用率	%	目標	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	全文化センターの貸室利用率
		実績	60.1	63.6	61.1		令和11年度	
プラネタリウム一般投影・団体投影入場者数	人	目標	46,600	46,600	46,600	37,280	37,280	五反田文化センタープラネタリウムにおける一般投影および団体投影の入場者数
		実績	13,749	12,610	13,076		令和11年度	
水泳教室参加者数	人	目標	1,700	1,700	1,700	1,700	2,000	荏原文化センター水泳教室における参加者数
		実績	1,421	1,598	1,744		令和11年度	

取組内容・実績	
◆貸室等の貸出や改修工事など施設管理・運営業務を行った。 ◆令和6年度において五反田文化センターでは、非構造部材（天井）耐震化工事、空調設備改修その他工事及び音楽ホール音響設備舞台照明更新工事などを行った。 ◆荏原文化センタープールの一般開放の時間を令和7年度から延長させるための準備を行った。 ◆利便性向上を図るため、オンライン決済を導入し支払い方法の幅を広げた。 ◆社会関係教育団体の登録更新手続きについて、電子申請による受付を開始した。	

指標の達成状況	
◆各施設の利用は通常通り貸出を行い、目標に近い水準を維持することができた。 ◆施設によっては老朽化が激しく、早急に改修工事を進める必要がある。 ◆引き続き利用者の増加に努める。	

必要性・有効性	
◆地域密着型の施設として利用者団体協議会、5館の連携を深め機能強化を図る必要がある。 ◆区民の文化、スポーツ、レクリエーション等の活動の促進を図る場を提供する必要がある、施設の維持は必要不可欠である。 ◆五反田文化センターのプラネタリウムは安価で誰もが気軽に天文に触れることができるほか、定期的にイベントを実施することで天体や宇宙に関する興味・関心を高める機会を創出でき有効である。 ◆荏原文化センターの温水プール開放・水泳教室では水中運動を通して、区民の健康維持・増進を図り、利用者間のふれあいを深めるため必要不可欠である。 ◆開館50年を超える施設のため老朽化が進んでおり、優先順位をつけた改修工事等について、引き続き実施・検討していく必要がある。	

4 予算・決算（概要） (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	105,413	96,367	0	9,046	91.4%
役員費	6,929	4,391	0	2,538	63.4%
委託料	342,370	330,843	0	11,527	96.6%
使用料及び賃借料	20,015	19,779	0	236	98.8%
工事請負費	657,279	601,964	0	55,315	91.6%
備品購入費	3,380	3,121	0	259	92.3%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	3,479	3,437	0	42	98.8%
計	1,138,865	1,059,902	0	78,963	93.1%

決算額の主な内訳					
◆需用費 96,367千円（光熱水費他） ◆委託料 330,843千円（窓口受付業務委託、設備管理・清掃業務委託、温水プール監視業務委託他） ◆使用料及び賃借料 19,779千円（土地使用料、便所防臭装置賃借、スポーツ室空調設備賃借他） ◆工事請負費 601,964千円（五反田音楽ホール音響設備舞台照明更新工事、空調設備等工事、耐震化等工事他）					

効率性					
◆各施設の委託業務については文化観光戦略課でまとめて契約することで、委託料の縮減に努めている。					

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	70,434	28,315	-42,119	流動資産 0	0	0	0
物件費	414,963	424,358	9,395	収入未済	0	0	0
うち委託料	307,613	309,053	1,440	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	11,271	17,202	5,931	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	6,693,760	6,796,414	102,654
補助費等	3,378	3,410	32	土地	4,230,821	4,230,821	0
減価償却費	81,668	84,143	2,475	建物	2,427,419	2,462,796	35,377
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	30,328	28,217	-2,111
賞与退職引当金繰入額 X	13,824	7,383	-6,441	重要物品	793	4,679	3,886
その他	69,508	429,355	359,847	インフラ資産	0	0	0
小計 D	665,046	994,166	329,120	建設仮勘定	4,400	69,900	65,500
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	6,693,760	6,796,414	102,654
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	5,903	6,025	122
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	75,368	69,386	-5,982	賞与引当金	5,903	6,025	122
その他	1,232	1,174	-58	その他	0	0	0
小計 E	76,599	70,560	-6,039	固定負債 S	37,177	33,584	-3,593
行政収支差額 H=E-D	-588,447	-923,607	-335,160	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	37,177	33,584	-3,593
通常収支差額 J=H+I	-588,447	-923,607	-335,160	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	3,396	3,396	負債の部合計 T=R+S	43,081	39,609	-3,472
特別収入 小計 L	1,479	0	-1,479	正味財産の部	6,650,680	6,756,804	106,124
特別収支差額 M=L-K	1,479	-3,396	-4,875	正味財産の部 合計 U	6,650,680	6,756,804	106,124
当期収支差額 N=J+M	-586,968	-927,002	-340,034	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	6,693,760	6,796,414	102,654

特徴的事項	
◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：12.7% 令和6年度：3.6% ◆施設の維持管理は委託により実施しているため、行政費用における物件費（委託料）の割合が高くなっている。 ◆固定資産には、文化センターの建物・土地等が計上されている（東品川文化センターの土地を除く）。	

6 評価

(1) 所管評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆基本的な事業規模は現状維持とし、実態に即した利用率を把握するため、託児室等の利用制限のある部屋を利用率計算時に除外を検討する。利用者ニーズにあった運営を行うため、部屋・設備の見直し・入れ替えを進めるとともに、利用者アンケートを検討する。また、文化センター事業の効果的な周知について調査する。	
(2) 最終評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆利用者のニーズをアンケート等を用いて正確に把握し、施設運営を見直すことで利用者の増加を図る。	

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	歴史館運営費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	文化観光費		事業	文化コミュニティ施設経費	
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	文化観光戦略課		担当係	品川歴史館

1 基本情報

長期基本計画	P41	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画	P52	実施計画事業 現況 必要事業量	品川区の歴史の継承と魅力の発信 - -
事業期間	昭和60年度 ~	関連する個別計画等	
根拠法令要綱	品川区立品川歴史館条例、品川区立品川歴史館条例施行規則、品川区立品川歴史館専門委員設置要綱		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆品川区にかかわる歴史資料を収集・保管・展示し、区民の教養の向上や学術および文化の発展に寄与する。	
【事業概要】 ◆品川歴史館の維持管理を行い、展示観覧者や貸出施設利用者など入館者への対応を行う。 ◆品川歴史館の常設展や特別展、企画展、コーナー展など各種の展示を行う。 ◆品川区にかかわる歴史資料を収集・保管し、調査研究を行う。 ◆歴史講座、古文書講座などの講座・講演会を実施する。	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
観覧者数	人	目標	3,000	0	20,000	20,000	20,000	年間の展示観覧者数(観覧料免除者含む)
		実績	3,236	0	20,420		令和11年度	
貸出施設利用者数	人	目標	1,500	0	7,000	7,000	7,000	貸出施設(講堂・書院・茶室)の年間利用者数
		実績	279	0	8,260		令和11年度	
歴史講座受講者数	人	目標	120	60	210	280	280	歴史講座の受講者延べ人数
		実績	102	34	205		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆令和元年度に「品川歴史館リニューアル基本計画」を策定し、令和2~3年度に大規模改修設計、令和4~5年度に工事を実施し、リニューアル事業は完了した。 ◆令和6年4月21日に品川歴史館リニューアルオープン記念式典を開催し、当日は式典参加者30人、一般客492人、計522人が来館した。 ◆リニューアル特別記念展第一弾として令和6年9月15日から12月15日まで「品川海に御台場ができるまで」を開催(観覧者数5,964人)。 ◆リニューアル特別記念展第二弾として令和7年1月18日から3月23日まで「品川海と海苔」を開催(観覧者数3,828人)。 ◆大規模改修工事により利用が可能になった茶室「松滴庵」について、一般公開および貸出を行った(利用者数2,847人)。	

指標の達成状況

◆年間観覧者数は20,420人で、目標を達成するとともに、昭和60年の開館以来最多の観覧者数となった。 ◆施設利用者は茶室・書院の一般公開を定期的実施したため、目標を上回る結果となった。 ◆歴史講座については、毎回定員を上回る応募があり、当日欠席者は出たもののおおむね目標に達する受講者数となった。

必要性・有効性

◆品川区にかかわる歴史資料の収集・保存・公開・調査研究を担う施設として必要不可欠である。 ◆子どもをはじめとした区民や区外の方に対して品川区の歴史と文化を伝える場であり、文化観光・交流拠点としての役割を果たすことが必要である。 ◆リニューアルにより、施設が明るくなった、展示が理解しやすくなったなど肯定的なご意見をいただいております、引き続き展示や事業の実施を通じて品川の歴史を広く伝えていく。 ◆継続的に行う資料の調査収集活動で得た成果を展示や刊行物により区民や研究者などに提供することで、地域博物館としての役割を果たしていく。
--

4 予算・決算(概要) (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	21,136	19,751	0	1,385	93.4%
役務費	4,607	3,825	0	782	83.0%
委託料	58,977	54,283	0	4,694	92.0%
使用料及び賃借料	471	462	0	9	98.1%
工事請負費	2,270	1,840	0	430	81.1%
備品購入費	500	360	0	140	72.0%
負担金補助及び交付金	107	75	0	32	70.1%
その他	3,188	1,935	0	1,253	60.7%
計	91,256	82,530	0	8,726	90.4%

決算額の主な内訳					
◆需用費 19,751千円(光熱水費他)					
◆役務費 3,825千円(絵画保管委託、広告掲載、刊行物郵送料他)					
◆委託料 54,283千円(施設維持管理業務委託、庭園維持管理業務委託、設備保守点検業務委託他)					

効率性

◆執行率は90.4%であり、適正かつ効率的に執行している。 ◆大規模改修工事に伴う空調機器等設備更新により、施設の省エネ化が進み光熱水費の削減につながった。					
---	--	--	--	--	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	50,551	24,507	-26,044
物件費	703,219	58,888	-644,331
うち委託料	630,977	54,283	-576,694
維持補修費	1,205	1,304	99
扶助費	0	0	0
補助費等	1,553	1,976	423
減価償却費	8,354	47,330	38,976
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	9,733	4,691	-5,042
その他	171,386	615	-170,771
小計 D	946,000	139,311	-806,689
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	1,773	1,773
その他	108	287	179
小計 E	108	2,060	1,952
行政収支差額 H=E-D	-945,892	-137,251	808,641
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-945,892	-137,251	808,641
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-945,892	-137,251	808,641

②貸借対照表 (千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	3,035,019	3,007,644	-27,375
土地	1,447,306	1,447,306	0
建物	1,562,164	1,515,283	-46,881
工作物	4,320	4,050	-270
重要物品	21,230	41,005	19,775
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	3,035,019	3,007,644	-27,375
流動負債 R	4,156	3,931	-225
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	4,156	3,931	-225
その他	0	0	0
固定負債 S	26,176	18,807	-7,369
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	26,176	18,807	-7,369
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	30,332	22,738	-7,594
正味財産の部	3,004,687	2,984,906	-19,781
正味財産の部 合計 U	3,004,687	2,984,906	-19,781
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	3,035,019	3,007,644	-27,375

特徴的事項

◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:6.4% 令和6年度:21.0%	
◆令和6年4月21日のリニューアルオープンにより、行政収入が増となった。	
◆大規模改修工事に伴う初年度調弁・移転等の経費がなくなったため、物件費は大幅減となった。	
◆固定資産には、品川歴史館の建物・土地等が計上されている。	

6 評価

(1) 所管評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆B 継続する事業	◆現状維持
【説明】	
◆大規模改修工事を完了した施設を適切かつ効率的に維持・管理し、区内外からの多くの来館者に親しまれる観光拠点となるよう運営していく。	
◆品川区に関わる歴史資料を調査研究・収集し、展示や刊行物の発行等を通じ、地域の歴史とその魅力を多くの人に伝えていく。	

(2) 最終評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆B 継続する事業	◆現状維持
【説明】	
◆所管評価に同意する。	

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	地域スポーツ支援				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	スポーツ推進費			
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	地域スポーツ推進係

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画	P45	実施計画事業 現況 必要事業量	地域スポーツ活動の充実 - -
事業期間	昭和57年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆区民の生涯にわたる自主的なスポーツ・レクリエーション活動の環境を整備し、地域スポーツの推進を図る。
【概要】	◆地域が主体となり運営する区内の地域スポーツクラブにおいて各種スポーツ教室やイベント（スポーツ大会等）を実施し、地域でのスポーツ活動を推進し、誰でもスポーツに参加できる環境を整備する。 ◆パラスポーツチャレンジデーやユニバーサルスポーツフェスタ等を実施し、障害者理解の促進を図り、共生社会の実現を目指す。 ◆令和3年度に誕生した区をホームタウンとするプロスポーツチームと連携し、小学生を対象としたスポーツ教室を実施し、もっと上手になりたいという「する」スポーツの推進とプロスポーツを観戦したいという「みる」スポーツの推進の相乗効果を図る。 ◆しながわシティランは、区民がランナー、ボランティア、応援など様々な形で参加し、区民みんなが輝く大会とすることで、区民のシビックプライドの醸成を図るとともに、品川のまちの魅力を区内外に発信する。 ◆デフリンピックの開催に伴い、デフスポーツの周知・啓発を行うことにより、聴覚障害の理解促進、共生社会の実現に寄与する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
スポーツ教室・イベント実施数	回	目標	82	83	84	80	84	各地域スポーツクラブにおける区委託事業のスポーツ教室・イベント数
		実績	75	80	75		令和11年度	
障害者スポーツ事業実施回数(延)	回	目標	28	28	28	28	28	各年度に実施する事業の延べ回数
		実績	23	21	21		令和11年度	
プロスポーツのホームゲーム開催数	回	目標	11	12	15	15	20	区立のアリーナで開催されるプロスポーツのホームゲームの年間試合数
		実績	11	14	14		令和11年度	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	目標	62		64		64	週1回以上スポーツ等を行う区民の割合
		実績	63		60		令和10年度	

取組内容・実績	◆各地域スポーツ教室等は、令和5度(12,971人)を超える13,623人の参加があった。 ◆パラスポーツ体験イベント(パラスポーツチャレンジデー等)や障害者スポーツ教室(障害者フライングディスク教室等)、区内の団体等に講師を派遣するポッチャ出前体験教室、ポッチャ大会(ポッチャ SHINAGAWA CUP)を実施した。 ◆区内でプロスポーツの公式戦を14試合(フットサル7試合、バスケットボール7試合)開催した。また、プロスポーツチームと連携して、小学生を対象としたプロスポーツ選手による教室を計10回実施した。 ◆しながわシティランの開催に向けて各種大会運営計画等の策定や関係機関等との調整を進めた。また、様々な媒体を使用して大会PRを行った結果、当日の会場来場者数は延べ約8,700人(うち大会参加者2,832人)となり、協賛金収入は40,000千円以上となった。 ◆デフサッカー日本代表宿泊時のエキシビジョンマッチ観戦のほか、デフスポーツ体験会や手話関連ワークショップ等を実施した。
---------	---

指標の達成状況	◆各地域スポーツクラブにおけるスポーツ教室・イベント実施数は、事業中止等の理由により、令和5年度と比較して減少している。 ◆パラスポーツ体験イベントについては、参加者を確保するための事業周知に重点的に取り組み、令和5年度を超える2,119人(前年度比180%)の参加があった。また、ポッチャ出前体験教室など各種パラスポーツ体験を通じた障害者理解の促進やパラスポーツの普及・啓発に取り組んだ。 ◆プロスポーツ公式戦は、令和5年度より約3,000人増加の約8,000人が観戦し、「みる」スポーツの推進に寄与している。 ◆しながわシティランの大会申込者数は6,956人であり、各種目とも定員を上回る申込みがあったため、抽選により参加者の確定を行った。なお、大会当日の参加率は約88%であったため、大会参加者数は2,832人となり、目標値(定員3,250人)より低くなっている。
---------	--

必要性・有効性	◆年間を通じて身近な地域でスポーツをする機会を提供しており、地域に根付いた事業も多くある。スポーツを通じて、人と人とのつながりをより強くし、地域の活性化を図るうえで事業の有効性は高い。 ◆令和7年度からパラスポーツチャレンジデーをインクルーシブスポーツチャレンジデーにリニューアルし、インクルーシブな視点を踏まえ、障害のある人もない人も共に参加できるスポーツ体験イベントを実施することにより、更なる機会の充実を図る必要がある。 ◆令和3年度に策定した品川区スポーツ推進計画において、「みる」スポーツの視点を加えた取組みを推進することとしており、プロスポーツチームとの連携は有効性が高いが、公式戦を行う会場の確保等が課題となっている。 ◆しながわシティランの開催を通じて区の魅力を区内外に発信するとともに、区民がランナー、ボランティア、応援など様々な形で参加し、区民みんなが輝く大会とすることで、区民のシビックプライドの醸成が期待できる。
---------	---

4 予算・決算(概要) (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	5,561	5,541	0	20	99.6%
役務費	2,812	297	0	2,515	10.6%
委託料	30,002	28,044	0	1,958	93.5%
使用料及び賃借料	477	445	0	32	93.3%
工事請負費	6,007	5,887	0	120	98.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	72,286	44,260	0	28,026	61.2%
その他	8,895	5,928	0	2,967	66.6%
計	126,039	90,402	0	35,637	71.7%

決算額の主な内訳	◆委託料 28,044千円(パラスポーツチャレンジデー運営委託、デフスポーツ啓発イベント運営委託他) ◆負担金補助及び交付金 44,260千円(しながわシティラン2025分担当)
----------	--

効率性	◆しながわシティランの開催に当たり、協賛の協力依頼に注力して取り組んだ結果、予算で見込んでいた5,500千円を大きく上回る40,500千円の協賛金収入を得ることに成功した。そのため、しながわシティラン実行委員会から区に分担金の返金額として、約28,000千円が返還されたことにより、全体の執行率は、令和5年度の87.1%から15.4ポイント減少し、71.7%となった。
-----	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	36,290	81,136	44,846	流動資産 0	0	0	0
物件費	27,494	35,360	7,866	収入未済	0	0	0
うち委託料	24,420	28,044	3,624	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	5,887	5,887	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	6,576	44,925	38,349	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	6,654	7,822	1,168	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	77,014	175,130	98,116	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	2,957	5,300	2,343
都支出金	1,000	5,490	4,490	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	2,957	5,300	2,343
その他	0	7,072	7,072	その他	0	0	0
小計 E	1,000	12,562	11,562	固定負債 S	20,353	36,209	15,856
行政収支差額 H=E-D	-76,014	-162,568	-86,554	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	20,353	36,209	15,856
通常収支差額 J=H+I	-76,014	-162,568	-86,554	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	23,309	41,509	18,200
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-23,309	-41,509	-18,200
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-23,309	-41,509	-18,200
当期収支差額 N=J+M	-76,014	-162,568	-86,554	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0
特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:55.8% 令和6年度:50.8% ◆しながわシティラン初開催に伴い、開催経費を分担金として支出したことにより、補助費等が令和5年度比で約7倍に増加した。 ◆行政収入における都支出金は、デフリンピック機運醸成に伴う区市町村スポーツ実施促進事業費補助金の補助金額上限引き上げにより、令和5年度比で約5倍に増加した。 ◆行政収入におけるその他の主なものは、しながわシティラン開催に伴うスポーツ振興くじ助成金である。						

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆計画・規定どおり 【説明】 ◆品川区スポーツ推進計画の基本理念である「スポーツの力でつなぐ みんなの笑顔が輝くまち しながわ」の実現に向け、インクルーシブな視点を踏まえ、パラスポーツ、デフスポーツなど多様なスポーツを体験できる機会を提供し、障害のある人もない人も共に楽しめる環境を整備するほか、しながわシティランの開催を通じて、区の魅力を区内外に発信し、区民のシビックプライドの醸成を図る。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆デフスポーツ関係事業については、デフリンピックのレガシーとして今後の事業展開のあり方を検討する必要がある。しながわシティランについては、引き続き協賛金の獲得に努め、持続可能な大会となるよう創意工夫を図る。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	地域スポーツ施設開放					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	地域スポーツ等推進経費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課		担当係	地域スポーツ推進係

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和29年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆区民の地域でのスポーツ活動を促進するため、区立学校等の体育館・校庭・温水プール等の施設を開放する。
【概要】	◆47校（区立小学校31校・中学校9校・義務教育学校6校・その他1校）の体育館・校庭・教室を開放する。 ◆10校（区立小学校7校・中学校3校）の校庭・屋外プールについて、種目を指定（テニス・学校プール夏季一般開放）した上で開放する。 ◆5校（区立中学校1校・義務教育学校4校）の温水プールを開放する。 ◆八潮公園多目的広場を身近な地域で屋外スポーツを楽しめるよう開放する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
学校施設の開放利用人数	人	目標	970,000	970,000	1,100,000	1,000,000	1,100,000	学校施設の開放における利用延べ人数
		実績	965,247	1,081,435	800,134		令和11年度	
学校スポーツ開放利用人数	人	目標	3,900	3,900	4,200	4,000	4,200	学校スポーツ開放における利用延べ人数
		実績	3,679	4,187	3,166		令和11年度	
学校温水プール開放利用人数	人	目標	236,000	205,000	205,000	205,000	205,000	学校温水プール開放における利用延べ人数
		実績	157,750	170,492	186,018		令和11年度	
八潮公園多目的広場の開放利用人数	人	目標	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	八潮公園多目的広場の開放における利用延べ人数
		実績	13,040	12,415	11,441		令和11年度	

取組内容・実績	◆学校施設の予約に当たっては、区内17地区で学校施設の利用調整会議・ブロック会議が毎月開催され、各地域スポーツクラブおよびスポーツ推進委員が運営を行っている。 ◆学校等にシルバー人材センター等への委託による施設管理員を配置し、施設開放の管理業務を行った。 ◆学校施設の申請手続について、令和6年度より品川区施設予約システムでの予約管理を導入し、団体・学校の双方の負担軽減を図った。
---------	--

指標の達成状況

◆学校施設開放の利用人数については、令和6年度からの施設予約システムの導入に伴い、地域の少年少女団体の利用などの学校施設開放対象外の利用人数が集計されなくなった等の理由により、減少している。 ◆学校温水プールについては、令和元年度以前の水準には戻りきっていないものの、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症による利用制限廃止後、利用人数は上昇傾向にあり、令和5年度から約1.1倍に増加した。
--

必要性・有効性

◆区内全域で、身近な地域でスポーツをする機会を提供しており、区民の自主的なスポーツ活動の促進に大きく寄与している。 ◆利用調整会議・ブロック会議は、単なる施設の予約だけでなく、地域で行うスポーツ教室等の検討・周知の場にもなっており、各地域スポーツクラブの活動を拡げていく上でも重要な役割を担っている。

4 予算・決算（概要）

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	10,745	6,937	0	3,808	64.6%
役務費	1,918	1,715	0	203	89.4%
委託料	343,902	340,773	0	3,129	99.1%
使用料及び賃借料	6,714	6,013	0	701	89.6%
工事請負費	1,500	1,489	0	11	99.3%
備品購入費	6,715	6,649	0	66	99.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	100	86	0	14	86.0%
計	371,595	363,663	0	7,932	97.9%

決算額の内訳	◆委託料 340,773千円（学校施設開放・温水プール管理業務委託他） ◆使用料及び賃借料 6,013千円（旧荏原第四中学校屋内運動場空調設備賃借他） ◆備品購入費 6,649千円（更衣用ロッカー、脱水機他）
--------	--

効率性	◆執行率は97.9%と高くなっているが、最低賃金の上昇等により、学校施設開放管理業務に係る人件費は増加傾向にあり、委託料が占める割合は全体の約93.7%となっている。
-----	---

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	12,487	15,305	2,818	流動資産 0	0	0	0
物件費	324,369	361,923	37,554	収入未済	0	0	0
うち委託料	314,018	340,773	26,755	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	1,117	1,628	511	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	3,376,592	3,376,592
補助費等	134	138	4	土地	0	3,351,237	3,351,237
減価償却費	0	2,817	2,817	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	25,355	25,355
賞与退職引当金繰入額 X	2,597	1,674	-923	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	340,703	383,486	42,783	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	3,376,592	3,376,592
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	1,154	1,122	-32
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	53,500	57,604	4,104	賞与引当金	1,154	1,122	-32
その他	294	321	27	その他	0	0	0
小計 E	53,794	57,925	4,131	固定負債 S	7,942	7,936	-6
行政収支差額 H=E-D	-286,909	-325,561	-38,652	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	7,942	7,936	-6
通常収支差額 J=H+I	-286,909	-325,561	-38,652	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	9,096	9,058	-38
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-9,096	3,367,534	3,376,630
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-9,096	3,367,534	3,376,630
当期収支差額 N=J+M	-286,909	-325,561	-38,652	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	3,376,592	3,376,592

特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:4.4% 令和6年度:4.4% ◆旧荏原第四中学校校舎の外壁破損により、ネット設置工事を実施したことに伴い、維持補修費の支出が令和5年度比で約1.5倍に増加した。
-------	---

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆身近な地域でスポーツができる場を引き続き提供することにより、区民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。 ◆学校施設開放の申請手続について、品川区施設予約システムを活用したオンラインによる申請および支払の導入を行い、団体・学校の負担軽減を図ったが、引き続き運用の見直しを行い、更なる利便性の向上に努める。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	少年少女スポーツ普及事業				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	スポーツ推進費		事業	地域スポーツ等推進経費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	少年少女スポーツ担当

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和52年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画、スポーツ開放実施要綱、品川区青少年健全育成者（スポーツ）感謝状贈呈要綱		

2 事業の目的・概要

【目的】
◆少年少女スポーツ大会 少年少女各種スポーツ大会を実施し、仲間づくりを通じて肉体的・精神的な健全育成を図る。
◆少年少女スポーツ開放 スポーツ活動の場として、学校校庭・地域広場等を開放する。
◆青少年健全育成表彰 少年野球、少年少女サッカー、小学生バレーボール、U12バスケットボール等の青少年のスポーツ活動において、育成者を表彰することにより青少年の健全育成に携わる指導者層の拡大につなげる。
◆ジュニアスポーツ拡大・定着プロジェクト 子どものスポーツに親しむ習慣や意欲を養うことで、積極的にスポーツをする子どもとしない子どもの二極化を解消し、体力の向上を図るとともに、ジュニアスポーツの裾野の拡大とスポーツ習慣の定着を図る。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
少年少女スポーツ大会参加者数	人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	少年少女スポーツ大会の参加者数
		実績	3,801	3,598	3,709		令和11年度	
少年少女スポーツ開放利用者数	人	目標	45,000	45,000	45,000	45,000	50,000	少年少女スポーツ開放（荏原平塚学園・品川学園・ひらさん広場）の利用者数
		実績	40,061	36,371	37,221		令和11年度	
品川区青少年健全育成者感謝状贈呈者数	人	目標	50	50	50	50	50	品川区青少年健全育成者感謝状贈呈者数（特別表彰・普通表彰含む）
		実績	15	25	18		令和11年度	
親子でジュニアスポーツフェスタ参加者数	人	目標	2,000	2,000	2,500	4,000	4,500	親子でジュニアスポーツフェスタの参加者数
		実績	1,808	2,414	3,841		令和11年度	

取組内容・実績
◆各少年少女スポーツ団体等と共催し、4種目8大会を実施し、参加者は3,709人であった。
◆少年少女スポーツ団体の活動の場として、品川学園・荏原平塚学園・ひらさん広場等の施設開放を実施した。
◆品川区青少年健全育成者（スポーツ）感謝状贈呈式を2月に実施し、18人に感謝状を贈呈した。
◆3回目の開催となる親子でジュニアスポーツフェスタを総合体育館で実施し、3,841人の参加があった。地域のスポーツ団体等に協力を依頼し、様々なスポーツを体験できるイベントとした。また、スポーツ体験だけでなく、地域のクラブ紹介なども実施した。

指標の達成状況

◆少年少女スポーツ大会は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての大会を中止としたが、令和3年度より大会を再開し、令和4年度以降の大会参加者数は、令和元年度以前と同等程度となっている。（令和元年度3,568人）
◆少年少女スポーツ開放は、熱中症対策により夏季期間の利用が減ったことで、令和5年度の利用者数は令和4年度と比較してやや減少していたが、令和6年度は令和5年度と同程度となっている。
◆親子でジュニアスポーツフェスタは3回目の開催で、令和5年度の経験を活かしながら種目や講師を選定し、効果的に区民に周知したこともあり、令和5年度を大きく超える参加者数となった。

必要性・有効性

◆子どもの頃から様々なスポーツに親しむことは、体の基礎や体力・運動能力を身に付け、他者との協調性や自信などを育み、大人になってからもスポーツを楽しみたいと思う気持ちを醸成することにつながるため、少年少女スポーツの普及の必要性・有効性は高い。
--

4 予算・決算（概要）

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	4,070	2,794	0	1,276	68.6%
役務費	61	34	0	27	55.7%
委託料	10,482	9,921	0	561	94.6%
使用料及び賃借料	96	78	0	18	81.3%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	4,559	4,558	0	1	100.0%
その他	255	241	0	14	94.5%
計	19,523	17,627	0	1,896	90.3%

決算額の主な内訳

- ◆委託料 9,921千円（親子でジュニアスポーツフェスタ運営委託他）
- ◆負担金補助及び交付金 4,558千円（全国大会出場助成金他）

効率性

- ◆ジュニアスポーツフェスタについて、令和5年度に簡易型プロポーザル方式により委託事業者を選定し、効率的・効果的な事業運営を行っている。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	6,863	12,914	6,051
物件費	14,613	12,850	-1,763
うち委託料	9,899	9,921	22
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	4,136	4,798	662
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,461	1,125	-336
その他	0	0	0
小計 D	27,074	31,687	4,613
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-27,074	-31,687	-4,613
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-27,074	-31,687	-4,613
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-27,074	-31,687	-4,613

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度：30.7% 令和6年度：44.3%
- ◆全国大会出場助成金の申請件数増加に伴い、補助費等の支出が令和5年度比で約1.1倍に増加した。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆少年少女スポーツ大会および少年少女スポーツ開放については、日頃のスポーツ活動の機会や成果発表の場として継続していく。
- ◆ジュニアスポーツ拡大・定着プロジェクトについては、幅広い年齢層の子どもが多様な種目を体験できるようメニューの見直しおよび拡充を図る。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善

【説明】

- ◆類似および定員割れしている取組みの見直しを図り、効果的な事業実施に努める。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	オリンピック・パラリンピックスポーツ等振興事業				
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項
	目	スポーツ推進費		事業	地域スポーツ等推進経費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	スポーツ振興担当

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する
総合実施計画	P43	実施計画事業 現況 必要事業量	スポーツ活動を通じた新たなにぎわいと地域活力の創出 - -
事業期間	平成25年度～	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画		

2 事業の目的・概要

【目的】	◆東京2020大会のレガシーに係る事業、その他のスポーツ振興を通じた地域活性化を図る。
【概要】	◆ホッケー教室・大会の実施、観戦ツアーの実施 区応援競技であるホッケーの普及啓発を図る。区応援競技を中心に、様々な競技の試合観戦・競技体験を行うツアーを実施する。 ◆しながわホッケー地域応援プロジェクト 年間を通して、区・日本ホッケー協会・地域がチームとして連携し、ホッケー競技の応援企画を実施する。 ◆ブラインドサッカー体験・国内大会の実施 区応援競技であるブラインドサッカーの普及啓発およびパラスポーツへの理解促進を図る。 ◆旧東品川清掃作業所暫定活用 旧東品川清掃作業所を文化・スポーツを起点としたまちのにぎわいを創出する場「アイルしながわ」として暫定活用する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
ホッケー関連事業参加者の満足度	%	目標	90	90	90	90	90	ホッケー教室、U-10しながわカップおよび地域応援プロジェクト事業参加者の満足度
		実績	80	88	93		令和11年度	
ホッケー地域応援プロジェクト来場者数 ※令和4年度は大井競馬場でのイベント来場者数	人	目標		2,600	2,600	2,600	2,600	大井ホッケー競技場で行われたホッケー国際親善試合1試合の来場者数
		実績	5,000	1,700	2,600		令和11年度	
ブラインドサッカー国内大会実施回数	回	目標	2	2	2	2	2	ブラインドサッカー国内大会の実施回数
		実績	2	2	2		令和11年度	
アイルしながわ利用件数	件	目標	450	1,300	1,500	1,600	1,800	アイルしながわの利用件数
		実績	394	1,028	1,016		令和8年度	

取組内容・実績	◆ホッケー教室ではウォーターホッケーなどの参加者がホッケーをより楽しめる内容に加え、英語や手話を用いた共生社会の理解を深める内容も取り入れたプログラムを展開した。 ◆ホッケー地域応援プロジェクトでは、地域団体や地元企業を巻き込むことで、地域が一体となって区応援競技であるホッケーを盛り上げ、国際強化マッチでは2,600人の来場があった。また、日本代表選手による商店街訪問、区を拠点とするチームへの支援など、年間を通じ地域に根差したホッケーの普及活動を行った。 ◆ブラインドサッカーの国内大会では、地域に根ざした地域リーグに加え、競技性・興行性を重視したトップリーグも開催し、より一層のパラスポーツの周知・啓発と障害者理解の促進に努めた。 ◆アイルしながわについては、スポーツ団体の利用をはじめ、地域のにぎわいイベントの場として活用した。
---------	---

指標の達成状況	◆実施したホッケー教室には、定員120人に対して定員を超える申込が毎回あることから、需要が高いことが読み取れた。 ◆ホッケー地域応援プロジェクトについては、大井ホッケー競技場での国際強化マッチに合わせて出展等機運醸成事業を実施し、1日で令和5年度を大きく上回る2,600人の来場者があり、ホッケーを通じた地域のにぎわいづくりに寄与した。 ◆ブラインドサッカー国内大会については、令和4年度よりトップリーグを誘致したことで、年間2大会（地域リーグおよびトップリーグ）の開催を実現し、パラスポーツの周知・啓発に効果があった。 ◆アイルしながわは、土日や夜間の利用率は比較的高いが、平日昼間や夕方の利用率が低いことから施設の利用件数は目標数値を下回った。
---------	---

必要性・有効性	◆国際大会が開催可能な施設である大井ホッケー競技場を有効活用する事業を展開することで、ホッケーを通じたまちのにぎわいづくりおよび「する」「みる」スポーツの観点から有効性は高い。 ◆ホッケー地域応援プロジェクトでは、年間を通してホッケーに親しめる場を提供し、ホッケーの認知度向上に寄与するとともに、まちのにぎわいが図れたことから有効性は高い。 ◆ブラインドサッカー国内大会は「みる」スポーツの機会の創出と、パラスポーツの認知度向上および共生社会の実現の観点から事業の有効性は高い。 ◆アイルしながわ（旧東品川清掃作業所）はスポーツ団体をはじめとした文化・スポーツ団体の活動機会創出の場として利用されている。また地域のにぎわいイベントに資する利用もあり、地域活性化の観点からも施設を運営する有効性は高い。
---------	---

4 予算・決算（概要） (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	4,212	2,744	0	1,468	65.1%
役員費	80	44	0	36	55.0%
委託料	44,556	42,927	0	1,629	96.3%
使用料及び賃借料	739	721	0	18	97.6%
工事請負費	6,950	4,928	0	2,022	70.9%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	15,900	15,900	0	0	100.0%
その他	114	84	0	30	73.7%
計	72,551	67,349	0	5,202	92.8%

決算額の主な内訳	◆委託料 42,927千円（アイルしながわ暫定活用、ブラインドサッカー東日本リーグ他） ◆負担金補助及び交付金 15,900千円（ブラインドサッカートップリーグ負担金、しながわホッケー地域応援プロジェクト負担金他）
----------	--

効率性	◆アイルしながわ暫定活用、しながわホッケー地域応援プロジェクト、ブラインドサッカートップリーグなどの事業を計画通りに実施できたため、予算全体の執行率が92.8%と高くなっている。
-----	---

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	40,130	17,609	-22,521	流動資産 0	0	0	0
物件費	51,545	46,525	-5,020	収入未済	0	0	0
うち委託料	45,022	42,927	-2,095	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	2,000	0	-2,000	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	3,673,523	3,588,968	-84,555
補助費等	31,119	15,930	-15,189	土地	3,098,086	3,098,086	0
減価償却費	0	29,876	29,876	建物	470,091	390,584	-79,507
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	105,346	96,915	-8,431
賞与退職引当金繰入額 X	8,277	2,198	-6,079	重要物品	0	3,383	3,383
その他	536	4,928	4,392	インフラ資産	0	0	0
小計 D	133,607	117,066	-16,541	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	3,673,523	3,588,968	-84,555
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	3,678	1,472	-2,206
都支支出金	4,209	4,010	-199	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	3,678	1,472	-2,206
その他	777	40	-737	その他	0	0	0
小計 E	4,986	4,050	-936	固定負債 S	25,317	10,416	-14,901
行政収支差額 H=E-D	-128,621	-113,015	15,606	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	25,317	10,416	-14,901
通常収支差額 J=H+I	-128,621	-113,015	15,606	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	28,994	11,888	-17,106
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	3,644,529	3,577,079	-67,450
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	3,644,529	3,577,079	-67,450
当期収支差額 N=J+M	-128,621	-113,015	15,606	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	3,673,523	3,588,968	-84,555
特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:36.2% 令和6年度:16.9% ◆しながわホッケー地域応援プロジェクトの実施内容の見直しにより、行政費用における補助費等の支出が約50%に減少している。 ◆固定資産には、アイルしながわの土地、建物等が計上されている。						

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆D 完了・廃止する事業 ◆事業移管・統合 【説明】 ◆東京2020大会のレガシーを継承するため、令和7年度より「スポーツまちづくり振興事業」として事業を再構築し、スポーツ関係団体および地域とのさらなる連携強化を図り、パラスポーツへの関心を高める取組みや、「する」「みる」両面からスポーツを推進し、スポーツ振興を通じた地域活性化をより効果的に進めていく。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆D 完了・廃止する事業 ◆事業移管・統合 【説明】 ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	野外活動事業					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	野外活動事業
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	少年少女スポーツ担当	

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和54年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場利用要綱		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆キャンプ場運営 青少年健全育成の一環として野外活動やキャンプ活動を行う目的で設置したキャンプ場を円滑に運営するため、施設管理業務を行う。 ◆野外活動事業 区民が野外活動を通じて自然に接し、親しむことができるよう、夏季に初心者ファミリー向けのキャンプ教室を実施する。	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場利用者数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場の利用者数
		実績	1,238	1,313	1,600		令和11年度	
品川キャンピングベース参加組数	組	目標	56	112	112	112	112	品川キャンピングベースの参加組数(1組5人まで)
		実績	46	95	86		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績
◆青少年育成団体が安全に活動できるよう施設の維持管理を行うとともに、週1回の清掃・巡回等の業務を行い、年間1,600人の利用があった。 ◆みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場を夏季休業期間中(7月末~8月上旬)に開放し、初心者が気軽にキャンプを体験できるよう品川キャンピングベース(初心者ファミリーキャンプ教室)を実施した。

指標の達成状況
◆みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響で一時期参加者が減少したが、令和4年度以降は年々利用者数が増加している。 ◆令和3年度まで実施していた初心者キャンプ教室(日帰り)を廃止し、令和4年度よりキャンプ初心者のファミリーを対象とした品川キャンピングベース(1泊2日)を実施しており、令和6年度は86組の家族が参加した。

必要性・有効性
◆野外活動事業は、自然体験や非日常での体験を通じて、子どもたちの体力向上や自己肯定感を高めることに有効である。また、青少年の健全育成を目的とした開放事業以外に、全世代を対象とした一般開放事業を展開することで、幅広い世代の区民が自然体験をすることにつながるため、野外活動事業の推進は必要である。

4 予算・決算(概要) (千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	390	156	0	234	40.0%
役員費	0	0	0	0	0.0%
委託料	3,944	3,944	0	0	100.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	10	0	0	10	0.0%
計	4,344	4,100	0	244	94.4%

決算額の主な内訳
◆委託料 3,944千円(キャンプ場清掃業務委託、野外活動事業運営委託) ◆需用費 156千円(リヤカー他)

効率性
◆清掃業務や野外活動事業の運営を委託化することにより効率的に執行している。

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	2,372	3,731	1,359	流動資産 0	0	0	0
物件費	3,715	4,106	391	収入未済	0	0	0
うち委託料	3,595	3,944	349	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	3,692	3,461	-231
補助費等	0	0	0	土地	0	0	0
減価償却費	231	231	0	建物	2,386	2,240	-146
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	1,306	1,222	-84
賞与退職引当金繰入額 X	487	350	-137	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	6,805	8,418	1,613	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	3,692	3,461	-231
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	216	247	31
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	216	247	31
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	1,489	1,488	-1
行政収支差額 H=E-D	-6,805	-8,418	-1,613	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	1,489	1,488	-1
通常収支差額 J=H+I	-6,805	-8,418	-1,613	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	1,706	1,735	29
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	1,987	1,726	-261
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	1,987	1,726	-261
当期収支差額 N=J+M	-6,805	-8,418	-1,613	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	3,692	3,461	-231
特徴事項							
◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:42.0% 令和6年度:48.5%							
◆固定資産には、みなとが丘ふ頭公園品川区キャンプ場の建物、工作物が計上されている。							

6 評価

(1) 所管評価
【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆キャンプ場の維持管理を適切に行うことにより、貴重な自然体験の場として開放するとともに、幅広い世代の参加者が楽しめるよう事業を継続していく。
(2) 最終評価
【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆B 継続する事業 ◆現状維持 【説明】 ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	区民スポーツ大会					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	区民スポーツ大会
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	地域スポーツ推進係	

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 多様な活動を支援する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和26年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆区民のスポーツの祭典として、日頃スポーツに親しむ区民がその成果を発揮するとともに、参加者間の親睦を図り、区民スポーツの振興を図る。 ◆「水と緑の市町村との交流事業」の一環として、山北町においてスポーツを通じての交流・親睦を図るとともに、スポーツの普及とレベルアップを図る。
【概要】	◆(公財)品川区スポーツ協会と共催し、品川区民スポーツ大会を年4季(春季・夏季・秋季・冬季)開催する。 ◆品川区民スポーツ大会マラソン大会(以下「区民マラソン大会」という。)等の成績優秀者(10名程度)を山北町主催の丹沢湖ハーフマラソン大会に派遣する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(達成年度)	
品川区民スポーツ大会参加者数	人	目標	12,500	12,500	12,600	13,100	13,500	品川区民スポーツ大会の参加者延べ人数
		実績	9,975	12,127	13,023		令和11年度	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆当初は51種目の開催を予定していたが、開催に必要な参加者数に満たなかったことにより5種目を中止とし、46種目を実施した。(令和5年度は52種目開催予定だったが、しながわシティランの開催に伴い令和5年度で区民マラソン大会が終了したため、令和6年度は1種目減となった。)
指標の達成状況	◆令和5年度と比較して実施種目数は1種目減少したが、参加者数は800人以上の増加となり、新型コロナウイルス感染症の影響による参加控えが解消され、参加者数は増加傾向にある。

必要性・有効性	◆品川区民スポーツ大会は年間50種目以上の大会を開催しており、日頃からスポーツ活動を行っている区民がその成果を発揮できる場として重要な役割がある。 ◆品川区民スポーツ大会を開催することで、生涯を通じてスポーツ活動に参加できる機会の充実を図り、区民の健康づくりや生きがいがいづくりへの効果が期待できる。
---------	---

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	0	0	0	0	0.0%
役員費	0	0	0	0	0.0%
委託料	110	110	0	0	100.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	22,960	21,866	0	1,094	95.2%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	23,070	21,975	0	1,095	95.3%

決算額の主な内訳	◆負担金補助及び交付金 21,866千円(品川区民スポーツ大会分担金)
----------	-------------------------------------

効率性	◆区民スポーツ大会、スポーツ交流事業(丹沢湖ハーフマラソン大会への品川区代表選手派遣)とともに順調に実施することができ、区民スポーツ大会においては、執行率95.2%と令和5年度と比べて0.1ポイント増となった。 ◆令和5年度と比較し1種目減少した開催となったが、参加者数は目標値を上回る800人増となった。一部大会開催に必要な参加者が集まらず中止となった種目があるため、当初予定していた種目を開催できるように募集方法・申込方法などの見直しを行う必要がある。
-----	---

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	2,226	2,870	644	流動資産 0	0	0	0
物件費	109	114	5	収入未済	0	0	0
うち委託料	109	110	1	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	0	0	0
補助費等	21,826	21,866	40	土地	0	0	0
減価償却費	0	0	0	建物	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	487	314	-173	重要物品	0	0	0
その他	0	0	0	インフラ資産	0	0	0
小計 D	24,647	25,164	517	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=0+P	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	流動負債 R	216	210	-6
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	216	210	-6
その他	0	0	0	その他	0	0	0
小計 E	0	0	0	固定負債 S	1,489	1,488	-1
行政収支差額 H=E-D	-24,647	-25,164	-517	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	1,489	1,488	-1
通常収支差額 J=H+I	-24,647	-25,164	-517	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	1,706	1,698	-8
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	-1,706	-1,698	8
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	-1,706	-1,698	8
当期収支差額 N=J+M	-24,647	-25,164	-517	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項	◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:11.0% 令和6年度:12.7% ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。
-------	---

6 評価

(1) 所管評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆区民のスポーツの祭典としての大会を開催し、日頃からスポーツ活動を行っている区民がその成果を発揮できる場づくりを今後も継続することで、生涯をとおしてスポーツに親しめる機会の充実を図る。 ◆令和7年度は新たにスポーツ協会に加盟した団体の競技種目を追加して実施し、区民スポーツ活動の更なる活性化を図る。
(2) 最終評価	【評価結果・今後の取組の方向性】 ◆C 改善・見直しする事業 ◆手法等の改善 【説明】 ◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	品川区スポーツ協会助成金					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	品川区スポーツ協会助成金
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	地域スポーツ推進係	

1 基本情報

長期基本計画	P36	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツによるまちの活性化を推進する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成7年度～	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	公益財団法人品川区スポーツ協会に対する助成に関する条例		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】 ◆公益財団法人品川区スポーツ協会の健全な運営と発展を図るため、同協会に対し必要な助成を行い、もって区のスポーツ振興に資する。	
【内容】 ◆事務局運営費に対する助成 (1) 事務局人件費 (2) 事務局維持費 (3) 各連盟助成費 (4) ホームページ維持費 (5) 広報事業費 (6) 研修事業費	

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	目標 (達成年度)	指標の定義
各種スポーツ教室および大会の回数	回	目標	166	157	163	155	170	体育、スポーツおよびレクリエーションの各種教室ならびに大会の開催回数
		実績	163	157	160		令和11年度	
加盟団体への助成件数	団体	目標	29	29	31	31	31	スポーツ振興のため活動するスポーツ協会の加盟団体への助成件数
		実績	25	26	25		令和11年度	
広報誌等の発行回数	回	目標	5	5	5	5	5	スポーティフルライフ(機関紙)および事業のお知らせ(各連盟年間事業計画書)の発行回数
		実績	5	5	5		令和11年度	
功労者表彰受賞者数	人	目標	3	3	3	3	3	品川区スポーツ協会功労賞の表彰を受けた人数
		実績	3	3	3		令和11年度	

取組内容・実績
◆令和6年度の体育、スポーツおよびレクリエーションの各種教室、大会の開催事業では、教室・講座を155回、大会を5回開催し、スポーツおよびレクリエーションの普及、振興を図り、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会を提供した。 ◆スポーツ協会の加盟団体への助成事業では、加盟31団体中25団体にスポーツ振興のための活動資金として899,000円を助成した。

指標の達成状況

◆各種教室および大会の開催回数は例年と大きく変わらないが、幅広い世代を対象とした多種多様な競技の教室および大会を実施し、誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しめる環境を提供した。 ◆加盟団体は31団体となり、各団体の活動を通じて、専門性が高く柔軟な執行体制を活かした多様なプログラムサービスを提供した。 ◆加盟団体の31団体のうち、助成対象となる事業を実施していない団体には助成を行っていないため、助成団体は25団体となった。

必要性・有効性

◆子どもから高齢者までの区民のライフステージに応じた各種教室や大会を通じて、スポーツに参加する機会と参加者同士が交流する場を提供しており、区民スポーツの推進に大きく寄与している。 ◆加盟団体への助成事業を通じて、各団体が広く区民を対象としたスポーツ事業を企画・運営することにより、区民による区民のための事業運営が展開されており、生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図る上でも重要な役割を担っている。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	0	0	0	0	0.0%
役員費	0	0	0	0	0.0%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	0	0	0	0	0.0%
負担金補助及び交付金	84,840	60,946	0	23,894	71.8%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	84,840	60,946	0	23,894	71.8%

決算額の主な内訳

◆負担金補助及び交付金 60,946千円(公益財団法人品川区スポーツ協会助成金)

効率性

◆23,894千円の不用額は、スポーツ協会の事務局次長への区管理職の派遣および庶務係長への区係長級職員の派遣に伴い、給与等の支払が発生しなかったことなどにより、人件費に大幅な不用額が発生したことによる。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	10,792	18,588	7,796
物件費	0	31	31
うち委託料	0	0	0
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	73,214	60,946	-12,268
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,272	1,988	-284
その他	0	0	0
小計 D	86,278	81,554	-4,724
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-86,278	-81,554	4,724
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-86,278	-81,554	4,724
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-86,278	-81,554	4,724

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	300,000	0	-300,000
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	300,000	0	-300,000
資産の部合計 Q=O+P	300,000	0	-300,000
流動負債 R	1,010	1,332	322
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,010	1,332	322
その他	0	0	0
固定負債 S	6,950	9,424	2,474
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	6,950	9,424	2,474
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	7,959	10,756	2,797
正味財産の部	292,041	-10,756	-302,797
正味財産の部 合計 U	292,041	-10,756	-302,797
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	300,000	0	-300,000

特徴的事項

◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:15.1% 令和6年度:25.2%
◆補助費等には品川区スポーツ協会への助成金が計上されているが、人件費の不用額が発生した等の理由により、令和5年度比で約12,000千円の減額となっている。

6 評価

(1) 所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

◆身近な地域で区民のライフステージに応じたスポーツに参加する機会・場を提供することにより、区民スポーツの推進を図るとともに、加盟団体への助成事業を通じて、区民による区民のための事業運営を展開し、生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図る。

(2) 最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

◆所管評価に同意する。

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	体育館運営経費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	運動施設費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	地域スポーツ推進係	

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	昭和34年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	品川区立体育館条例、品川区立体育館条例施行規則		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆区立体育館の適切な管理運営を行うとともに、区民の健康や体力の維持増進を目的に体育館利用の促進を図る。
【概要】	◆総合体育館・戸越体育館の施設の維持管理 ◆各種スポーツ教室の開催など体育、スポーツおよびレクリエーションに係る事業の運営 ◆区民への施設の貸出業務・利用料金の徴収 ◆区民スポーツ大会への会場提供などを通じた区民のスポーツ・レクリエーションの振興 ※平成18年度より、(公財)品川区スポーツ協会を指定管理者として管理運営を委託

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
体育館の有料利用件数	件	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	6,000	総合体育館および戸越体育館の時間区分別の各施設の有料貸切利用件数
		実績	4,935	4,898	4,486		令和11年度	
各種スポーツ教室の参加人数	人	目標	7,200	7,200	7,200	7,200	8,000	少年少女教室、初心者教室、高齢者(シルバー)教室、障害者教室およびスポーツ講習会における参加延べ人数
		実績	6,704	6,743	6,600		令和11年度	
フリー利用の参加人数	人	目標	52,000	52,000	52,000	52,000	60,000	総合体育館9種目および戸越体育館12種目のフリー利用における参加延べ人数
		実績	37,526	45,507	47,487		令和11年度	
スポーツの日記念事業の参加人数	人	目標	800	800	1,000	1,000	1,200	スポーツの日記念事業における参加延べ人数
		実績	1,062	910	974		令和11年度	

取組内容・実績	
◆総合体育館は区の総合的なスポーツ施設として、一般貸出とともに多様なスポーツ教室や種目別フリー利用等を実施し、子どもから高齢者まで誰もが活用できる施設として運営し、戸越体育館は地域の身近なスポーツ施設として区民に親しまれるよう運営している。	
◆各種スポーツ教室では、バウンドテニスや卓球などの初心者教室や、60歳以上の高齢者を対象としたシルバーピンポン教室等を開催し、幅広い区民ニーズを捉えたスポーツの場を提供している。	
◆フリー利用では、曜日・時間帯別に総合体育館9種目、戸越体育館12種目を実施し、個人でも気軽に好きなスポーツを楽しめる場を提供している。	
◆スポーツの日記念事業では、区立体育館を無料開放し、誰もが気軽にスポーツを始めるきっかけとなることを目的に様々なスポーツ体験会を実施している。令和6年度は、「オリンピック大崎佑圭に学ぶバスケットボール教室」を開催した。	

指標の達成状況	
◆体育館の有料利用件数は、令和4年度をピークに減少傾向にあり、減免団体(高齢者団体)による利用件数が増加していることが主な理由として挙げられる。	
◆各種スポーツ教室の参加人数は令和5年度と同水準で推移しており、体育館利用率(会議室除く。)は約90%となっている。	
◆令和6年度のフリー利用の参加者数は47,000人を超え、令和2年度から右肩上がりに増加している。	
◆スポーツの日記念事業を令和5年度と同規模で開催し、参加者数は当日悪天候だった令和5年度から微増となっている。	

必要性・有効性	
◆体育館を利用する子どもから高齢者までが、体育館利用を通じて健康や体力の維持増進が図られる。	
◆身近な地域で気軽にスポーツをする機会・場を提供しており、区民スポーツの推進に大きく寄与するとともに、区民相互の交流・親睦の場として機能している。	
◆令和3年度からは、品川区をホームタウンとするプロスポーツチーム(フットサル・バスケットボール)が区立体育館をホームアリーナとして公式戦を開催しており、「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツの拠点としても必要性が高まっている。	
◆個人利用(フリー利用)の件数が増加傾向にあることから、引き続き利用者のニーズを踏まえた事業展開を図る必要がある。	

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	36,464	29,116	0	7,348	79.8%
役務費	165	165	0	0	100.0%
委託料	206,822	188,238	0	18,584	91.0%
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0.0%
工事請負費	188,190	184,593	0	3,597	98.1%
備品購入費	2,340	2,200	0	140	94.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	433,981	404,311	0	29,670	93.2%

決算額の主な内訳	
◆委託料 188,238千円(体育館指定管理運営委託他)	
◆工事請負費 184,593千円(総合体育館空調設備改修工事、戸越体育館雨漏り対策工事他)	

効率性	
◆令和6年度の利用料金収入は、令和5年度から横ばいで推移しており、コロナ禍前の令和元年度の額を超え、指定管理運営委託料の抑制につながっている。	

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円)				②貸借対照表 (千円)			
勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)	勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	10,841	18,588	7,747	流動資産 O	0	0	0
物件費	206,032	211,943	5,911	収入未済	0	0	0
うち委託料	173,407	182,631	9,224	不納欠損引当金	0	0	0
維持補修費	0	0	0	その他	0	0	0
扶助費	0	0	0	固定資産 P	2,792,875	2,730,567	-62,308
補助費等	0	0	0	土地	1,164,279	1,164,279	0
減価償却費	61,125	60,561	-564	建物	1,621,959	1,561,613	-60,346
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	工作物	2,690	2,475	-215
賞与退職引当金繰入額 X	2,272	1,988	-284	重要物品	3,946	2,200	-1,746
その他	216,806	190,200	-26,606	インフラ資産	0	0	0
小計 D	497,075	483,280	-13,795	建設仮勘定	0	0	0
地方税	0	0	0	その他	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0	資産の部合計 Q=O+P	2,792,875	2,730,567	-62,308
国庫支出金	525	0	-525	流動負債 R	1,010	1,332	322
都支出金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0	特別区債	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0	賞与引当金	1,010	1,332	322
その他	317	283	-34	その他	0	0	0
小計 E	842	283	-559	固定負債 S	6,950	9,424	2,474
行政収支差額 H=E-D	-496,233	-482,997	13,236	特別区債	0	0	0
金融収支差額 I	0	0	0	退職給与引当金	6,950	9,424	2,474
通常収支差額 J=H+I	-496,233	-482,997	13,236	その他	0	0	0
特別費用 小計 K	0	0	0	負債の部合計 T=R+S	7,959	10,756	2,797
特別収入 小計 L	0	0	0	正味財産の部	2,784,915	2,719,811	-65,104
特別収支差額 M=L-K	0	0	0	正味財産の部 合計 U	2,784,915	2,719,811	-65,104
当期収支差額 N=J+M	-496,233	-482,997	13,236	負債及び正味財産の部合計 V=T+U	2,792,875	2,730,567	-62,308

特徴的事項	
◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:2.6% 令和6年度:4.3%	
◆指定管理運営委託におけるスポーツ教室の講師謝礼の単価増等の理由により、委託料が令和5年度比で約9,000千円の増加となっている。	
◆固定資産には、区立体育館の土地、建物等が計上されている。	

6 評価

(1) 所管評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆B 継続する事業	◆現状維持
【説明】	
◆区立体育館の管理運営を適切に行うことにより、身近な地域で区民が気軽にスポーツができる環境を確保するとともに、各種スポーツ教室やフリー利用を通じて、様々なスポーツ活動の機会・場を提供し、区民のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。	
(2) 最終評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆C 改善・見直しする事業	◆手法等の改善
【説明】	
◆区民スポーツの重要な活動拠点として、より効率的・効果的な管理運営を行うとともに、フリー利用の参加人数など指標に掲げる目標を達成するためにも、各種スポーツ団体のノウハウを活用した事業展開を図る。	

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	公園運動施設費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	運動施設費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課		担当係	地域スポーツ推進係

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成13年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	品川区立公園条例、品川区立公園条例施行規則		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆区民のスポーツ活動の拠点として、公園運動施設の整備・充実を図る。
【概要】	◆公園の有料運動施設等を区民のスポーツ活動の拠点として開放し、施設の利用促進を図る。 ◆しながわ中央公園内でボルダリング場を運営し、子どもたちを中心に新たなスポーツを気軽に楽しめる機会を創出する。 ◆ボルダリング競技の普及・啓発のため、主に初心者を対象としたボルダリング教室を定期的に開催する。また、オリンピック・クライミング選手等を招いたボルダリングイベントを実施する。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
公園運動施設利用件数 (団体利用)	件	目標	33,100	36,053	40,000	39,000	40,000	野球場・庭球場・サッカー場等の団体利用件数
		実績	33,268	34,165	38,075		令和11年度	
公園運動施設利用件数 (個人利用)	件	目標	22,100	34,651	30,000	30,000	32,000	弓道場、スケートボード場、ボルダリング場、しながわ区民公園プールの個人利用件数
		実績	19,588	24,857	26,214		令和11年度	
ボルダリング場利用件数 (個人利用)	回	目標		3,000	3,000	3,500	4,000	ボルダリング場の個人利用件数
		実績		2,624	3,327		令和11年度	
		目標						
		実績						

取組内容・実績	
◆公園運動施設を区民のスポーツ活動の場として、野球・テニス・サッカー等の利用団体および個人に対して開放し、予約管理を行った。また、区が主催する大会等の会場としても貸出を行い、区民のスポーツ活動の拠点となるよう、施設の利用促進を図った。	
◆令和6年5月の施設予約システムのリニューアルに伴い、オンラインクレジットカード決済を導入するとともに、令和6年6月から電子申請サービスを利用した団体登録の申請受付を開始するなど、利用者の利便性向上を実現した。	
◆令和6年6月にしながわ中央公園多目的広場の団体登録制度を新設し、施設予約システムによる抽選申込等の運用を開始するなど、利用者の利便性向上および継続的に施設を利用できる環境の整備を図った。	
◆しながわ中央公園ボルダリング場において、競技の普及・啓発および施設のPRを目的に、パリオリンピック開催記念イベント・体験教室を実施したほか、初心者を対象としたボルダリング教室を年4回開催し、延べ57人が参加した。	

指標の達成状況

◆団体利用は、しながわ区民公園の大規模改修工事が令和5年12月に完了して以後、施設の長期休館が発生していないことから、令和5年度と比較して約1.1倍に増加した。
◆個人利用は、ボルダリング場の利用が令和5年度と比較して1.2倍以上増加し、全体の件数が1,400件程度増加するなど、目標値の達成に向け上昇している。

必要性・有効性

◆品川区内で野球・テニス・サッカー等、屋外でスポーツができる施設は限られており、区民からの需要も高く、区民がスポーツ活動を行う拠点としての必要性は高い。
◆ボルダリングは、東京2020大会で初めて採用されたアーバンスポーツの1つであり、子どもたちを中心に新たなスポーツを気軽に楽しめる施設として開放することは、区民が様々なスポーツに親しむ機会・場を提供することにつながり、必要性・有効性が高い。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	1,236	1,235	0	1	99.9%
役務費	65	47	0	18	72.3%
委託料	16,118	16,078	0	40	99.8%
使用料及び賃借料	1,312	1,296	0	16	98.8%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	1,760	1,760	0	0	100.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	180	39	0	141	21.7%
計	20,671	20,454	0	217	99.0%

決算額の主な内訳					
◆委託料 16,078千円(しながわ区民公園屋外水泳場管理運営委託他)					

効率性

◆一部科目の執行率は低くなっているが、全体の執行率は99%超と高く、適正かつ効率的に執行している。					
---	--	--	--	--	--

5 財務情報

①行政コスト計算書 (千円) ②貸借対照表 (千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	12,535	15,305	2,770
物件費	17,691	20,442	2,751
うち委託料	15,430	16,078	648
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	35	39	4
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	2,597	1,674	-923
その他	0	0	0
小計 D	32,858	37,460	4,602
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	17,579	20,277	2,698
その他	0	0	0
小計 E	17,579	20,277	2,698
行政収支差額 H=E-D	-15,279	-17,183	-1,904
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-15,279	-17,183	-1,904
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-15,279	-17,183	-1,904

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	178	325	147
収入未済	178	325	147
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	178	325	147
流動負債 R	1,154	1,122	-32
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	1,154	1,122	-32
その他	0	0	0
固定負債 S	7,942	7,936	-6
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	7,942	7,936	-6
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	9,096	9,058	-38
正味財産の部	-8,919	-8,733	186
正味財産の部 合計 U	-8,919	-8,733	186
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	178	325	147

特徴的事項	
◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:46.1% 令和6年度:45.3%	
◆しながわ区民公園プールの券売機の購入等により、物件費が令和5年度比で約15%の増加となっている。	

6 評価

(1) 所管評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆B 継続する事業	◆現状維持
【説明】	
◆公園運動施設の利用率は、庭球場では約90%と非常に高く、全体でも約70%となっており、区民のスポーツ活動の拠点として重要な役割を果たしている。今後も、更なる利用拡大を図り、身近なスポーツ活動の場として開放していく。	
◆しながわ中央公園ボルダリング場について、ボルダリング教室等を通じて、施設の利用促進および競技の普及・啓発を図る。	
(2) 最終評価	
【評価結果・今後の取組の方向性】	
◆B 継続する事業	◆現状維持
【説明】	
◆所管評価に同意する。	

令和7年度 事務事業評価シート (令和6年度実施事業)

小事業名	施設予約システム管理経費					
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	地域振興費
	目	スポーツ推進費			事業	施設予約システム管理経費
担当部署	文化観光スポーツ振興部	担当課	スポーツ推進課	担当係	地域スポーツ推進係	

1 基本情報

長期基本計画	P37	政策の柱 基本的な考え方	学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり 生涯学習・スポーツの環境を充実する
総合実施計画		実施計画事業	-
		現況	-
		必要事業量	-
事業期間	平成14年度 ~	関連する個別計画等	品川区スポーツ推進計画
根拠法令要綱	品川区施設予約システムの利用者登録に関する規則		

2 事業の目的・概要

目的・概要	
【目的】	◆区施設の利用者の利便性向上を図るため、施設予約システムを運用する。
【概要】	◆施設予約システムを利用し、区施設の利用者管理・予約管理を行う。

3 事業の実績・課題

指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標 (達成年度)	指標の定義
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)		
品川区施設予約システムの利用施設数	施設	目標	55	58	200	230	240	スポーツ推進課にて管理・運営している施設における品川区施設予約システム利用施設数
		実績	55	58	227		令和11年度	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

取組内容・実績	◆施設予約システムを利用し、インターネットからの予約受付や抽選申込み等を行い、各施設における予約情報等の管理を行っている。 ◆施設予約システムを令和6年5月15日よりリニューアルした。 ◆施設予約システムのリニューアルに合わせて、学校施設（区内46校）のシステム管理を開始した。
---------	---

指標の達成状況

◆施設予約システムを利用している227施設について、予約管理等業務を実施した。 ◆学校施設のシステム運用開始に伴い、169施設を新規で登録した。

必要性・有効性

◆施設予約システムは、各施設の空き状況等を公開しているほか、団体登録をしている利用者はインターネットからの抽選申込み、空き予約、オンラインクレジットカード決済ができるなど、利用者の利便性向上には必要不可欠なものである。

4 予算・決算(概要)

(千円)

予算科目(節)名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
需用費	1,079	1,075	0	4	99.6%
役員費	983	624	0	359	63.5%
委託料	0	0	0	0	0.0%
使用料及び賃借料	9,074	9,073	0	1	100.0%
工事請負費	0	0	0	0	0.0%
備品購入費	1,420	0	0	1,420	0.0%
負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	12,556	10,773	0	1,783	85.8%

決算額の主な内訳

- ◆需用費 1,075千円 (施設予約システム用プリンタ購入経費、プリンタ用トナーカートリッジ購入経費)
- ◆使用料及び賃借料 9,073千円 (施設予約システム利用料)

効率性

- ◆一部科目の執行率は低くなっているが、全体の7割を占める施設予約システム利用料は、各所管で管理している施設数に応じて案分して支出しており、適正かつ効率的に執行している。
- ◆施設予約システム用プリンタ購入経費として備品購入費を計上していたが、当初想定していた金額よりも契約金額が抑えられたため、予算を流用し需用費から支出した。それに伴い、備品購入費の執行率が0%となっている。

5 財務情報

①行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
給与関係費 W	6,438	10,770	4,332
物件費	1,889	10,791	8,902
うち委託料	0	0	0
維持補修費	0	0	0
扶助費	0	0	0
補助費等	0	0	0
減価償却費	0	0	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0
賞与退職引当金繰入額 X	1,298	1,151	-147
その他	0	0	0
小計 D	9,625	22,712	13,087
地方税	0	0	0
特別区財政調整交付金	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
都支出金	0	0	0
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	0	0	0
その他	0	0	0
小計 E	0	0	0
行政収支差額 H=E-D	-9,625	-22,712	-13,087
金融収支差額 I	0	0	0
通常収支差額 J=H+I	-9,625	-22,712	-13,087
特別費用 小計 K	0	0	0
特別収入 小計 L	0	0	0
特別収支差額 M=L-K	0	0	0
当期収支差額 N=J+M	-9,625	-22,712	-13,087

②貸借対照表

(千円)

勘定科目	5年度(A)	6年度(B)	差額(B-A)
流動資産 O	0	0	0
収入未済	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0
その他	0	0	0
固定資産 P	0	0	0
土地	0	0	0
建物	0	0	0
工作物	0	0	0
重要物品	0	0	0
インフラ資産	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0
その他	0	0	0
資産の部合計 Q=O+P	0	0	0
流動負債 R	577	771	194
還付未済金	0	0	0
特別区債	0	0	0
賞与引当金	577	771	194
その他	0	0	0
固定負債 S	3,971	5,456	1,485
特別区債	0	0	0
退職給与引当金	3,971	5,456	1,485
その他	0	0	0
負債の部合計 T=R+S	4,548	6,227	1,679
正味財産の部	-4,548	-6,227	-1,679
正味財産の部 合計 U	-4,548	-6,227	-1,679
負債及び正味財産の部合計 V=T+U	0	0	0

特徴的事項

- ◆人件費比率 (Y=(W+X)÷D) 令和5年度:80.4% 令和6年度:52.5%
- ◆学校施設開放への施設予約システム導入に伴い、システムを利用する施設数が大幅に増加したため、物件費が令和5年度比で約6倍の増額となっている。
- ◆流動・固定負債には、翌年度以降支出することが見込まれる職員の賞与・退職給与のうち当年度末時点の発生額を計上している。

6 評価

(1)所管評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

- ◆施設予約システムを利用することで、一元的に予約情報等の管理を行うことが可能となり、区施設を利用する区民等の利便性の向上も実現できる。

(2)最終評価

【評価結果・今後の取組の方向性】

- ◆B 継続する事業 ◆現状維持

【説明】

- ◆所管評価に同意する。